

Part 1 基本情報

1. タイプロフィール

(1) 正式名称

(和文) タイ王国

(英文) Kingdom of Thailand

(2) 政体

立憲君主制

(3) 首都

バンコク

(4) 面積

51万4,000平方km

(5) 人口

6,707万人(2009年)

(6) 民族

タイ族(8割強)、ほかにマレー族、山岳少数民族、中国系

(7) 言語

公用語: タイ語

(8) 宗教

仏教

(9) 略史

13世紀スコータイ王朝がタイの基礎を築く。14～18世紀のアユタヤ王朝、18世紀のトンブリー王朝を経て、1782年バンコクを首都とする現チャックリー王朝誕生。1932年、立憲革命により絶対王政から立憲君主制に移行。

(10) 在留日本人

45,805人(2010年1月)

(11) 気候

国土の大部分が熱帯モンスーン性気候に属し、雨季(5～10月)と乾季(11～4月)に大きく分かれる。年間の降水量の80～90%が雨季に集中する。バンコクでは最低気温が摂氏15度前後、最高気温は35度近くで、年平均気温は28度である。北東季節風の吹く乾季の11～2月が最もしのぎやすい。

【参考】

「外務省ホームページ-各国・地域情勢」外務省

『最新世界各国要覧 10訂版2000』東京書籍

2. 業務のための基礎データ

1 タイ事務所概要

(1) 住所

31st Floor, Exchange Tower, 388 Sukhumvit Road, Klongtoey, Bangkok 10110

(2) 連絡先

- 国番号 : 66
- Tel: +66-2-261-5250
- FAX : +66-2-261-5262

- URL : <http://www.jica.go.jp/thailand/index.html>
- E-mail : ti_oso_rep@jica.go.jp

(3) 執務時間

8:30~16:30(昼休み 12:00~13:00)

(4) 休日 土日および以下の祝日 (2010年)

	DATE	DAY	Holiday	Remarks
1	1-Jan	Fri	New Year Holiay	
2	1-Mar	Mon	Makha Bucha Day	(Substitution)
3	6-Apr	Tue	Chakri Memorial Day	
4	13-Apr	Tue	Songkran Day	
5	14-Apr	Wed	Songkran Day	
6	15-Apr	Thu	Songkran Day	
7	5-May	Wed	Coronation Day	
8	13-May	Thu	Ploughing Day	
9	28-May	Fri	Visakha Bucha Day	
10	26-Jul	Mon	Asamha Bucha Day	
11	27-Jul	Tue	Buddhist Lent Day	
12	12-Aug	Thu	H.M.the Queen's Birthday	
13	25-Oct	Mon	Chulalongkom Memorial Day	(Substitution)
14	6-Dec	Mon	H.M. the King's Birthday	(Substitution)
15	10-Dec	Fri	Constitution Day	
16	29-Dec	Wed	Year End Holiday	
17	30-Dec	Thu	Year End Holiday	
18	31-Dec	Fri	Year End Holiday	

(5) 事務所までの交通

【空港から】

空港内のAOTエアポート・リムジンカウンターで申し込みを行い、リムジンタクシー(市内中心部まで片道 1,000 バーツ前後)を利用することを勧める。

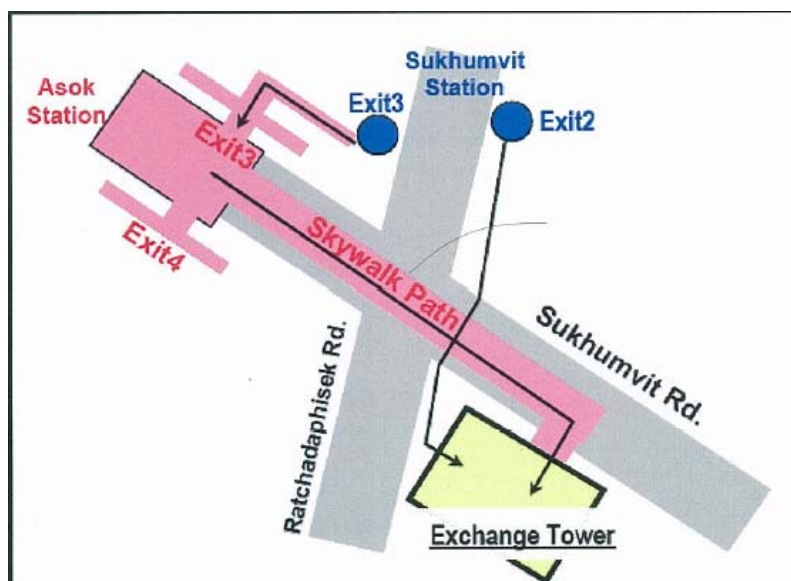
一般のメータータクシー(屋根に“TAXI METER”と表示)も利用できるが、タクシー乗り場で登録されたタクシーを利用のこと。公式手数料 50Bを下車時に運転手に支払うことになっている。また、高速料金は乗客が負担することになっているので、料金支払い所で運転手が求めたとき、または、下車するときに負担する。タクシー乗り場以外のところで乗るとメーターを使わないなど、不愉快な思いをさせられることもあるので注意が必要。空港から市内までの所要時間は、高速道路を利用した場合、時間帯にもよるが 30分~1時間程度。

【空港以外から】

BTSスクンビット駅または地下鉄アソーク駅から徒歩 2、3分。交差点を横断する際は、交通量が多いため注意。

市内で流しのタクシーを利用する際は、現地のタクシー運転手はタイ語しか分からなかったり地図を見せてもよく通じなかったりする場合もある。ホテルなどで行き先をタイ語で書いてもらっておくと便利である。なおメータータクシーは距離・時間併用制で、最初の 1 kmまで 35 バーツである。

(6) 事務所周辺地図



2 入国・出国情報

(1) 入国時

- ・入国手続きに必要な書類
旅券、出入国カード。
- ・入国審査時の留意点
特に問題はない。
- ・税関検査の留意点

段ボール箱の使用は避けたほうがよい。通常、荷物の検査は行われませんが、大量の荷物や段ボール箱は検査の可能性がある。多量の食料の持ち込みは課税されることがある。

(2) 出国時

・リコンファーム

一般的に不要だが、航空会社によって異なるため、チケット購入時に確認すること。

・チェックイン

通常、出発時刻の2時間前となっている。シーズンによって出国手続きに時間を要する場合があるのでチェックイン時刻には余裕をもったほうがよい。

・空港利用税

チケットに含まれるため、不要。

(3) 出迎え

バンコク・スワンナプーム空港は、セキュリティの強化のために、出迎え要員が3番出口までしか入れないようになっている。

(4) 市内への移動

「P2 2(5)事務所までの交通」を参照。

3 日本との時差、サマータイム

(1) 日本との時差

-2時間

(2) サマータイム

実施していない。

4 祝日、官公庁の休日

(1) 祝日

年に15日程度ある。また、メーデーは官公庁は休まず、その1週間ほど後の Ploughing Day は官公庁が休み、民間は勤務日となる。

(2) 官公庁の休日

上記祝日と土曜日、日曜日。

5 ビジネスアワー

・官庁 8:30~16:30(12:00~13:00 は昼休み、土日休み)

・銀行 9:30~15:30(昼休みなし、土日休み)

・商店 商店により異なる。

6 言語

(1) 業務

政府機関、企業などで国際的な業務に携わったり、外国人と接したりする機会の多いタイ人が相手であれば英語が通用するが、一般に話されている言語はタイ語である。

(2) ホテル、買い物、食事

主要都市の中級以上のホテルでは英語が通用する。デパートやスーパーマーケットなどでは英語が通用する場合もあるが、市場、一般商店、タクシーは英語が通じないことが多い。

7 通貨など

(1) 通貨

バーツ (1 バーツ=100 サタン)

紙幣: 1,000 バーツ、500 バーツ、100 バーツ、20 バーツ、(10 バーツはまれ)

コイン: 10 バーツ、5 バーツ、2 バーツ、1 バーツ、50 サタン、25 サタン

(注: サタンはスーパーマーケット以外では受取りを拒否されることが多い。)

(2) 為替レート(2010年9月現在)

1 米ドル=31.12 バーツ

1 バーツ=2.72 円

(3) 換金方法

空港、大きなホテル、銀行、市内の両替所で円、米ドルなどから両替することができる。パスポートの提示は不要ことが多い。闇の取引はない。空港やホテルよりも、市中の銀行両替所の方がレートが良い。

(4) クレジットカード

VISA、MASTER、AMEX 等は、大手ホテル、百貨店、レストランなどで利用可能。街中でのクレジットカードによるキャッシングも可能。ただし、休日に引き出せないATMもある。キャッシングは手数料が150 バーツかかる。

また、飲食店等、旅行会社等ではクレジットカードを利用する場合、数%の手数料を取られることがある。

(5) トラベラーズチェック

銀行(外貨取扱店)や両替所で換金できるが、パスポートの提示を求められる。通常、バーツへの換金費用として、取扱手数料および印紙代の支払いが必要となる。なお、銀行の外貨取扱店であってもバーツへの両替は取り扱わないところもある。また個別に両替限度額が設けられているので、注意が必要。

(6) チップ

大きなレストランでは通常サービス料 10%、VAT(付加価値税)7%が加算されているので、基本的にチップは不要といわれているが、レストランでは釣り銭のコインを残す程度でチップを払う場合もある。ホテルのポーターに荷物を運んでもらった場合は 20 バーツ程度を渡している。タクシーでは細かい釣り銭を返さない運転手も多いので、チップのつもりでいた方がよい。

8 通信

(1) 電話

・一般事情

携帯電話も普及しており、レンタルも可。

SIM ロックフリーの GSM 方式対応の携帯電話を保有しているのであればスワンナプーム空港の到着ロビーでプリペイドカード式の SIM を購入して使用すると良い。

(2) FAX

広く普及している。

ホテルから送信する場合は手数料も含めた金額を請求される場合が多い。

(3) 郵便

国内郵便料金は、はがきは一律 2 バーツ、封書は 20g 以下 3 バーツ。国際航空郵便は、日本まではがき 15 バーツ、封書は重量によって異なるが最低料金は 10g まで 14 バーツ。日本までの所要日数は 1 週間から 10 日程度。

(4) 国際宅配サービス

郵便よりも安全に早く送る方法として利用されている。DHL や OCS のような民間の宅配サービスのほかに、郵便局による EMS も利用できる。

・ホテルからの発送

受付に依頼すると、たいていのホテルで宅配サービス会社に取り次いでもらえる。

9 コンピューター

(1) モバイルコンピューターの利用

タイの電圧は 220V なので、240V まで対応可能な AC アダプターがあればそのままコンセントに差し込んで使用可能。ただし、タイの電圧変動は日本に比べて大きいので注意。停電も日本に比べ頻繁に起こるため、デスクトップ型を使用する場合は UPS(無停電電源装置)も併用する必要がある。パソコン本体およびたいの周辺機器はタイ国内で調達可能である。

(2) インターネット

タイのインターネット人口は近年急増している。通信環境も日本ほど高速ではないが、ADSL 回線、衛星回線なども整備されてきている。市内にはインターネットカフェが多数あり、大きなホテル内のビジネスセンターからの利用も可能である。接続コネクターの形状は、日本と同じモジュラージャックであることが多い。

現地には、インターネット接続プロバイダーが数多く存在する。申し込み同日にアカウントの取得ができるところがほとんどなので、現地での滞在期間に応じて、現地アカウントを利用するか、ローミングアクセスを利用するかを選択も可能である。料金はプロバイダーや契約形態によって異なる。

10 気候、服装

熱帯性気候で、雨季(5~10月)、乾季(11~4月)に分けることができる。乾季の中でも3~4月を暑季として特に区別する場合もある。バンコクの暑季の最高気温は摂氏約 35 度、乾季でも 30 度近くになるため、服装は年間を通じて日本の夏服でかまわない。ただし、北部や標高の高い地域へ出かける場合は、朝晩涼しくなることもあるため長袖のシャツなどが必要。またデパート、ホテル、オフィスなどでは室内の冷房が効きすぎている場合も多いため、はおれるものを用意しておいたほうがよい。

11 衛生状況・健康管理

国別医療情報(<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/medical-p.html>)を参照。

12 交通機関

(1) 一般事情

バンコク市内の道路交通は、世界一といわれるほど渋滞が激しいのが特徴で、特に平日の朝夕には、どの道路でも渋滞が発生し、雨が降ると状況はいっそうひどくなる。市内を自動車で移動する際は、到着予定時刻に対して十分余裕を持って出発したほうがよい。土曜、日曜、祭日は、平日ほど渋滞がひどくない。

高架鉄道(BTS やスカイトレインと呼ばれる)や地下鉄(MRT)は、日本人にとっては比較的利用しやすい。ちなみに現行の地下鉄は円借款を活用して建設されている。

市内には多数のタクシーが運行している。今では全て料金メーターを備え、冷房完備である。メーター付きタクシーの料金は最初の 1km(基本料金)が 35 バーツで、以降 1km につき 3.5~5 バーツ加算される。料金は奇数になっているが、おつりをくれないことが多いので、チップのつもりとっていた方が無難。ごくまれに、メーターを使わないことがあるので、行き先を告げた後、運転手がメーターを作動させるのを確認すること。また、女性一人のタクシー乗車は特に夜間は避けたほうがよい。(安全対策アドバイザーからのアドバイス:乗車したあと、携帯電話で誰かと話すと、連絡手段があることが運転手にわかってよいとのこと。)

主要ホテルにはホテル・エアポート・リムジンタクシーがある。料金は通常のタクシーの倍はするが、清潔で安心である。

また、空港からは市内中心部まではAOTのエアポートリムジンタクシーが片道が 1000 バーツ前後で利用可能。

(2) 地方への移動手段

航空機を利用するのが一般的であるが、鉄道や長距離バスも運行している。鉄道はときどき事故があり、長距離移動には勧められない。

13 宿泊

バンコクには比較的料金の安い、安全で設備の整った国際的なホテルが多数ある。11月から1月が観光シーズンなので、この時期の宿泊は早めに予約すること。詳しい情報は、一般の旅行ガイドブックなどに多数紹介されているので、利用するとよい。

14 電気事情

タイの電圧は220Vなので、ホテル、宿舎で日本から持ち込んだ家電製品を使用する際には変圧器が必要である。コンセントの穴の形は日本とは若干異なるものの、たいていそのまま差し込んで使うことができる。

15 食事

(1) 一般事情

バンコクにはタイ料理をはじめとして各国の料理を専門とするレストランが数多くある。日本料理店は主要なホテルのほか、市内の至るところにある。

一般的な営業時間は11:00～14:00頃(昼食)、18:00～22:00頃(夕食)である。レストランでの飲食料金には通常10%のサービス料と7%のVATが加算される。

(2) 飲食店

一般の旅行ガイドブックなどに多数紹介されているので、利用するとよい。現地発行の日本語情報誌でも多数紹介されている。

16 安全対策

タイは比較的安全な国という認識が定着しているが、犯罪件数は増加しており、在タイ日本大使館によれば、邦人保護取扱件数は、17年連続で世界一となっている。特に、盗難(スリ、置き引き、ひったくり)、睡眠薬強盗、スキミング等と交通事故に注意が必要。

バンコクでは、2009年から反タクシン派(黄色シャツ)やタクシン派(赤シャツ)のデモや集会が時折行なわれている。最新情報を収集するとともに、集会やデモ等には近づかず、不測の事態に巻き込まれないように十分注意すること。

また、2009年の年始早々バンコクのクラブで火災があり、多くの死傷者が出ました。室内で花火をしたことが原因とのことであり、狭いところに大勢が集まる店などでは、避難ルートを確認し、十分注意する必要がある。最新の治安情報等については便宜供与回答公電とともに送付する安全対策情報も参照すること。

17 その他

(1) 禁止されている言動(タブー)

- ・王室に対する尊敬の念が強いため、王室への軽口は厳禁である。また、国旗を粗末に扱ってはならない。
- ・女性は、僧侶に触れたり近寄ったり、話しかけたりしてはならない。
- ・頭は神聖なものであるため、タイ人の頭や髪の毛に触れてはならない。
- ・人の目の前で足を組んではならない。また、足で方向を示してはならない。
- ・短パン、タンクトップ、サンダルなど極端に肌を露出した服装で外出しないこと。特に寺院では禁止されている。
- ・第三者のいる前で、相手の自尊心を傷つけるような言動は厳禁である。
- ・王室出席の公式行事には、男性はタイ服ではなく背広、ネクタイ着用が望ましい。
- ・むやみに女性の体に触れてはならない。

18 関係機関

(1) 在外日本関係機関

・在タイ日本国大使館

住所 : 77 Witthayu Road, Lumpini, Pathum Wan, Bangkok 10330

Tel: +66(タイ国番号)-2-207-8500 / 2-696-3000 Fax: 02-207-8510

URL : <http://www.th.emb-japan.go.jp/>

[旅券・証明・在外選挙等] 02-207-8501 / 02-696-3001

[邦人援護] 02-207-8502 / 02-696-3002

[査証] 02-207-8503 / 02-696-3003

お、長期滞在される方は、上記HPから大使館のメールマガジンの購読を申し込みと良い。

・在チェンマイ総領事館

Consulate-General of Japan in Chiang Mai, Airport Business Park, 90 Mahidol Rd., T.Haiya, A.Muang, Chiang Mai 50100, Thailand

Tel.+66-53-203367 Fax.+66-53-203373

(2) タイの関係官公庁

・Thailand International Development Cooperation Agency(TICA)(技術協力の窓口機関)

住所: 962 Krung Kasem Rd., Pomprab, Bangkok 10100

電話: 02-280-0980

Part 2 生活情報

※「生活情報」は特に記載のない限りバンコクの情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅 1-1 ホテル



バンコクには比較的料金の安い、安全で設備の整った国際的なホテルが多数ある。

11月から1月が観光シーズンなので、この時期の宿泊は早めに予約すること。詳しい情報は、一般の旅行ガイドブックなどに多数紹介されているので、利用するとよい。

1-2 住宅事情

現在のところ住宅事情は良好であるが、最近では、家賃が上向いているといわれている。一般独立家屋としては、庭付き2階建てのものが多いが、維持管理や防犯上の不安があるため、バンコクにいる駐在員で借りる人は少ないようである。

アパートは一般に高層建築で、プール、ジムがついていることが多い。また、守衛がいるため、防犯の面では比較的安心である。家賃は、1ベッドルームで3~6万バーツ、2ベッドルームで3~8万バーツ、3ベッドルームで4~10万バーツ前後である。家具付きが一般的であり、使用人部屋を備えているところが多い。

家賃は割高であるが、清掃・洗濯サービスのある、レストラン併設のサービス・アパートメントが増えている。これらは単身者の利用が多い。



(写真1)一般的な高層アパート

1-3 住宅の探し方

家主との直接契約も可能であるが、日本語が通じる不動産会社も複数ある。不動産会社を利用する場合は、まず家賃の上限を提示し、できるだけ多くの物件を見せてもらうこと。また、アパートの管理事務所には価格表を備えているところも多くあるので、参考にするとよい。なお、仲介手数料は、借り手からでなく家主から斡旋会社に支払われるシステムである。現地発行の日本語情報紙や「Bangkok Post」などの英字新聞の広告欄にも、かなりの物件が掲載されている。

なお、サービスアパートは紹介業者を通さないこともあるが、それ以外の物件は居住中の問題対応の便(例:退去時の保証金の回収)等を参考し、同業者に依頼するのが一般的である。

1-4 住宅選定上の留意点

<設備、家具の状況>

広さ、部屋数が希望に沿うものかどうか、駐車場、プール、ジム、衛星放送受信設備などの付帯設備が整っているか、水道の水圧が十分か、網戸の有無などに留意する。

<安全性>

守衛、入館者チェックの有無、扉の鍵、火災時の避難路などを確認する。

<交通>

通勤ルートの交通渋滞の状況、買い物の利便性のほか、日本人学校、幼稚園のスクールバスのピックアップ・ポイントの有無に留意する。

<周囲の環境>

騒音、悪臭の有無。雨季の水はけなどに気をつける。スラムや建築現場付近は避けたほうが無難である。徒歩で帰宅する場合などを想定し、暗くなってからの様子や周辺に野良犬がうろついていないか、などを観察する。

<使用人部屋>

専用出入口の有無を確認する。使用人部屋を別棟に設けているところもある。

1-5 住宅の契約

通常、1年契約である。また、保証金(デポジット)は家賃2カ月分だが、一部3カ月分のところもある。家賃は月初めに前月分の公共料金(電気、水道)とともに支払う。サービス・アパートメントの場合、1年未満の契約もできるが、他は最低1年間入居が必要。初年度に転出する場合は保証金が返さないことが多い。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

一戸建て住居やコンドミニアムの場合、電気、水道、電話は、各公社と直接契約となるのが一般的であり、各公社からの請求に応じて支払うこととなり、料金は均一となっていることが多い。サービスアパートやアパートの場合、水道代、電気代、電話代はアパートの管理事務所を通じて支払うことが多い。この場合は、管理事務所が独自に設定している料率で支払うことが一般的。水道代は、使用量に応じて支払う場合のほか、1カ月の定額で支払ったり、家賃に含まれていたりする場合もある。電気代は、使用量に応じて支払う場合のほか、1カ月の定額で支払う場合もある。電話代は通話した分の料金を支払う場合が多い。いずれにしても、アパートごとの電気代、水道代、電話代の料率や支払い方法は契約前に確認しておく必要がある。なお、タイは電気代が高いので要注意。

プロパンガスは、ボンベの交換時に直接会社に料金を支払う。

アパートの管理費は家主が管理事務所に直接支払うことになっている契約が多い。

ゴミの収集は、アパートの場合、通常は敷地内にある指定のゴミ置き場に随時集積できる。

1-7 家電

(1) 電圧

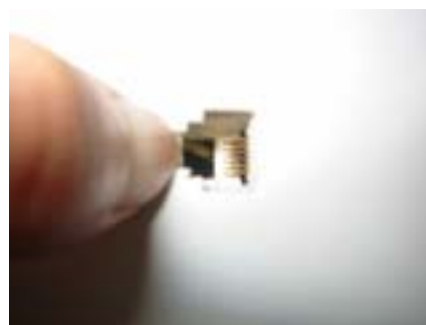
220Vである。したがって、日本仕様の電化製品にはステップ・ダウントランスが必要となる。日本の電化製品でも電圧が100～240Vの範囲であれば使えるものもある。ただしタイの電圧変動は日本に比べて大きく、アダプターが故障するケースもあるため、トランスを使い100Vに落として使用するか、スタビライザーを使用したほうが安全である。通常のトランスは現地のデパートなどで入手できる。

(2) コンセント、モジュージャックの形

コンセントは日本の形とは異なるが、日本の電気製品のプラグをそのまま差し込むことが可能な形状である(写真参照)。モジュージャックは日本と同様の形状であり、アダプターは必要ない。



(写真2) コンセント



(写真3) モジュージャック

(3) 家電製品

通常の家電製品であればすべてバンコクで調達できる。日本とタイでは電圧が異なるので、日本から持ち込むよりも現地調達したほうがよい。なお、タイのテレビの受信方式はPAL B/G方式で、日本のNTSC方式とは異なっている。いず

れにしても、日本メーカーの製品を現地で調達出来、また、高級住宅の場合、基本家電は設置してあることが多いので、こだわりがない限り、日本から持参する必要はない。

1-8 家具保険

コンドミニアムやマンションの場合は備え付けの家具が多いので、特に保険をかける必要はない。火災保険についても家主がかけているのが通常である。一戸建ての場合は自らの責任で総合保険へ加入することを勧める。

1-9 その他

該当情報なし。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

基本的には、日本での夏物衣料を持参すればよい。ただし、冷房対策は必要である。また、12～1月は朝晩冷え込むことが多く、摂氏16度前後まで下がることもある。したがって、長袖、カーディガン、ジャケットなども用意しておくとい。

寝具としてタオルケットや毛布なども必要である。布地はタイ製、日本製などが豊富に出回っている。タイ製品は廉価で、品質は悪くない。日本製品は日本国内と同等か、それ以上の価格で販売されている。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

<男性>

通常着用するスーツ、ワイシャツ、普段着、靴、靴下などは輸入品、現地製品ともに豊富であり、現地で調達可能である。しかし、自分に合うサイズがない場合もあるので、着慣れた服や履き慣れた靴は持参したほうがよい。下着については現地ではビキニタイプが主流であり、トランクスは少ないため、必要に応じ持参するとよい。また、日本で流行しているDRY素材は割高なので持参したほうがよい。

<女性>

通常着用するスーツ、ブラウス、ニット、スカート、ストッキング、靴などは輸入品、現地製品ともに豊富であり、現地で調達可能であるが、サイズがない場合もあるので、着慣れた服や履き慣れた靴は持参したほうがよい。

<子供>

ふだん着用するものは、現地製で十分間に合う。

(3) 任国で調達したほうがよい衣料

タイの礼服、シルクドレスなど。

(4) その他の留意点

該当情報なし。

2-2 礼装

(1) パーティー

男性はスーツにネクタイ着用で十分である。女性はパーティー用ドレスを着用する。ドレスは現地のタイシルクで仕立てる人も多い。

(2) 式典

まれに和装を要望されることがある。着物があれば重宝するが、持参する場合は小物類も忘れずに用意すること。現地では入手しづらい。

(3) 冠婚葬祭

喪服(夏用)に黒靴である。黒ネクタイ、喪章などをつける。

(4) その他の留意点

インターナショナルスクールでは、自国の民族衣装を着る祭りがある。子女を随伴する場合、浴衣や法被などを準備しておくといよい。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

クリーニング店は多く、日系の店もある。ドライクリーニングも可能である。

(2) 仕立て、修繕

仕立店は数多く、廉価で早く仕立て上がる。

(3) 保管

高温多湿なため、特に日本から持参した冬服等の保管には、防虫剤が必要である。

2-4 美容院、理髪店

美容院は数多くあり、なかには日本人技術者のいる店もある。

市内の美容院はホテル以上の技術を持つ高級店から、安価な店までさまざまである。

マニキュア、フェイシャルエステのサービスをする店もある。料金は、地元の店は非常に安い、日本人技術者のいる店はそれよりも高い。

理髪店も美容院同様に多数ある。また、両方を兼ねている店も多い。かみそりの消毒が不十分なため、ひげ剃り後に炎症を起こした例がある。切り傷から病気に感染する可能性もあるので、衛生管理が徹底している店を選んで利用したほうがよい。

化粧品や整髪用品は、欧米および日本の一流メーカー品がデパートなどで購入できる。ただし、扱っている種類は限られているので、愛用しているものがあれば多めに持参したほうがよい。

日差しが強いため、サンタンオイル、サンスクリーン、カーミンローションなどの夏用化粧品は必需品である。

ブラシ、クシなどの化粧小物はデパートやスーパーで購入できる。

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

本来、チップを渡す習慣はないが、欧米人が多いホテルでは行われている。特別なサービスに対する感謝の気持ちとして、適宜渡すとよい。

(2) 各種サービスに対するチップ

ホテルのベルボーイには荷物1個につき20バーツ程度、ルームサービスには20～30バーツ、レストラン(飲食代にサービス料が含まれる場合)では、釣り銭程度が目安である。大きなレストランでは通常、サービス料10%、付加価値税(VAT)7%が加算されているので、基本的にチップは不要といわれているが、感謝の気持ちを示すため、若干の金額を支払うのが一般的である。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

バンコクには、タイ料理をはじめ、日本、中国、韓国、ベトナム、インド、フランス、イタリア、メキシコ、イギリス、スイス、ドイツ、中近東、ブラジルなど、各国の料理を専門とするレストランが数多くある。また、日本料理店はバンコクだけでも約200店に上り、主要なホテルのほか、市内のいたるところにある。

一般的な営業時間は11:00～14:00ごろ(昼食)、18:00～22:00ごろ(夕食)で、飲食料金には、上記のとおり、通常10%のサービス料と、7%のVATが加算される。

(2) 飲食店

一般の旅行ガイドブックなどに多数紹介されているので、利用するとよい。現地発行の日本語情報紙でも多数紹介されている。

4-2 食料

(1) 一般事情

野菜、肉、魚などの基本的な食料品のほか、みそ、しょうゆなど、日本料理に使用する調味料も豊富に出回っている。食料品はスーパーマーケットで購入するのが一般的であるが、タラートと呼ばれる市場もある。タラートはスーパーマーケットに比べかなり割安であるが、一般にタイ語しか通じず、また、鮮度や衛生面に問題がある場合もある。

(2) 主な食品の出回り状況

<主食>

タイ米のほか、タイ産の日本米、カリフォルニア米がある。また日本米(コシヒカリなど)も日系スーパーで売られている。パンは、食パンのほか菓子パンも各種豊富に出回っており、日系のパンメーカーもある。そのほか、うどん、そば、そうめんなどのめん類も容易に入手できる。

<野菜>

種類は豊富で、ゴボウ、アスパラ、ヤマイモなども生産されている。

<肉>

牛肉、豚肉、鶏肉およびハムなどの加工品も、輸入品を含めて豊富にある。

<魚介類>

サバ、サンマ、サケなどが輸入されている。エビ、カニも常時入手できる。マグロの刺身などもある。

<調味料>

みそ、こうじみそ、しょうゆ、薄口しょうゆ、みりん、ワサビ、焼き肉のたれ、そばつゆなどが日本からの輸入の他、現地でも生産されており、デパート、スーパーマーケット等で売られている。

<果物>

ドリアンやマンゴーなどの熱帯産果物のほか、リンゴや、季節によりカキも味わえる。

<嗜好品>

コーヒー、日本茶、ウイスキー、日本酒、梅酒、ブドウ酒など各種豊富であるが、酒税が高いので、割高である。

<その他>

出回っているその他の日本食品は以下のとおりである。銘柄等にこだわらなければ、ほぼ何でも揃う。

とんかつソース、ウスターソース、ごま油、マヨネーズ、インスタントだし、インスタントみそ汁、おでんの素、味付けのり、つくだ煮、カツオパック、切りもち、インスタントラーメン、レトルトカレー、カレールー、インスタントミートソース、ラー油、七味唐辛子、練りわさび、ポン酢、焼き肉のたれ、カップ焼きそば、カップうどん、らっきょう、納豆、生揚げ、豆腐(絹、木綿)、卵豆腐、フレッシュミルク、スポーツ飲料、その他菓子類。

(3) 食料の入手

デパートやスーパーマーケット、コンビニエンスストアがあちこちにある。食料品、日用品など品揃えは豊富であり、日本のスーパーマーケットと同様に買い物ができる。クレジットカードが使えるところも多い。日系のデパートやスーパーでは、日本食品を豊富に取り扱っている。また、アソーク、バンラック、クロントイなどの市場では、タイ産の野菜や果物が安く売られており、日本人も利用している。

日本を含め外国からの食料品の持ち込みは、個人で食するものを除き禁止されているため、多量の持ち込みには課税されることがある。

暑さのため、乾物類でも半年ぐらいで変質することがある。アリも集まりやすいので、食品は冷蔵庫に保存するのが望ましい。



(写真 4) スーパーマーケット



(写真 5) 市場

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

陶器は、タイ国産品が豊富で安価で入手できる。調理器具も、特殊なものや特定のメーカー品を除き、たいいていのものは入手できる。ただし、日本製品は高価で種類も少ない。

ラップ、ホイルなどの雑貨や食卓用品も不自由なく入手できる。

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

すり鉢はあまり見かけないので、必要ならば持参したほうがよい。

5. 生活用品の購入 5-1 家電製品



日本製品を含め豊富に出回っており、デパートの電気製品売場でほとんどの製品が手に入る。ただしテレビ、ビデオは日本とタイでは放送方式が異なっている。なお、当地で購入できるDVDプレーヤーはリージョンの制限がない物が一般的である。

5-2 家具

輸入品、現地製品を含め豊富に出回っており、デザイン、素材、価格などはさまざまである。デパートや家具専門店で好みに合わせて購入できる。

5-3 日用品、雑貨

一般的なものであればスーパーやデパートで何でも手に入る。また、バンコク市内には、日系のデパートや雑貨店もあり、日本製の日用品、雑貨等も入手可能。日本製のものは、日本で購入するより若干割高である。なお、ダイソーを始めとする100円ショップ(当地の場合、実際は2~300円)も多数オープンしてい

る。

5-4 工具、素材など

一般的な工具はスーパーやデパートでも購入できる。特殊なものはホーム・プロのようなホームセンターで購入することが可能。

5-5 デパート、商店

バンコクには、高級デパートから地元のショッピングスーパー、個人商店、市場と多彩にあり、日系のデパートでは日本食から海外食材まで豊富に取り揃えている。また、地元のショッピングスーパーは、バンコク市内だけではなく各地方都市にも展開しており、基本的な日常生活用品や一般食材を入手することが出来る。



(写真6)エンポリアム(デパート)

6. 金融機関



6-1 金融機関

(1) 銀行

日系銀行としては三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行が一般窓口業務を行っている。タイの地元銀行も随所であり、キャッシュカードも利用できる。事務所の入居しているビルに地元銀行が3社支店を構えており、関係者の多くはバーツ口座をそこで開設している。

(2) 口座の開設と閉鎖

ドルもしくは円の外貨普通預金、バーツ普通預金、バーツ当座預金を開設して、利用する例が多い。外貨口座の場合、口座維持手数料として1カ月あたり10米ドルもしくは1000円の経費が口座から自動引き落としとなる(外資系銀行では、口座維持手数料を徴収しないところもある)。

口座開設にあたっては、外国人は、原則として、パスポートの提示が必要。ただし、銀行によっては労働許可証もしくは在勤証明書の提出を求められることもある。

口座解約にあたっては、通常、帰国前に銀行に直接出向き、解約手続きを行う。外貨預金については、日本への外国送金が可能である。

(3) 小切手

バーツ小切手は、一般商店での支払いにはあまり利用されていないが、光熱費や電話代の支払いに利用できるほか、家賃などの高額な支払いには便利である。当座預金開設と同時に小切手が発行されるが、当座預金開設のためには開設資金として最低2万バーツの預け入れが必要。

小切手を振り出す際、小切手左上にA/C PAYEE ONLYと横線を表示し、名

宛人の口座にのみ入金するようにすると安全性は高い。現金引き出しの場合は、この表示は行わず、支払い先欄にCASHと記入し、取扱銀行窓口に提示する。

(4)換金方法

日本円、米ドル、トラベラーズチェックが、銀行(外貨取扱店)、町中の両替所、ホテルなどで両替可能。ただし、1日20万バーツ以上のバーツへの両替には、パスポートおよび労働許可証のコピー、使途目的を証明する書類の提出が中央銀行により義務づけられている。

トラベラーズチェックの両替の場合、通常、パスポートの提示を求められるほか、トラベラーズチェック取扱手数料と印紙代がかかる。なお、銀行の外貨取扱店であっても、トラベラーズチェックのバーツへの両替は取り扱わないところもある。また、個別にトラベラーズチェック両替限度額を設けているので、注意が必要。

6-2 クレジットカード

American Express、MasterCard、VISAなどは、大手ホテル、百貨店、レストランなどで使用可能。それ以外は、店によるので事前に確認しておく必要がある。なお、飲食店や旅行会社によっては、数%の手数料をとることがある。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1)一般事情

バンコク市内の道路交通は、世界一といわれるほど渋滞が激しいのが特徴で、特に平日の朝夕には、どの道路でも渋滞が発生し、雨が降ると状況はあっというまにひどくなる。市内を自動車で移動する際は、到着予定時刻に対して十分余裕を持って出発したほうがよい。

高架鉄道(BTSやスカイトレインと呼ばれる)や地下鉄は、日本人にとっては比較的利用しやすい。料金は距離によって異なる。運行時間は朝6:00から夜24:00 時刻表はなく、時間帯によって3分~6分程度の間隔で運行されています。

市内には多数のタクシーが運行している。今ではそのほとんどは料金メーターを備え、冷房完備である。メーター付きタクシーの料金は最初の1km(基本料金)が35バーツで、以降走行距離や時間に応じ加算される。金額は必ず奇数になる。行き先を告げた後、運転手がメーターを作動させるのを確認すること。まれに、メーターのないタクシー(屋根に「TAXI」と表示)があるが、乗車前に料金の交渉が必要で、外国人の場合高めの料金になりがちなので、避けたほうが無難。また、女性一人のタクシー乗車は避けたほうがよい。

主要ホテルでは車のハイヤーサービスを提供している、料金は通常のタクシーより高いが、運転手の身元や会社がはっきりしている為、安心である。

バスは、路線、本数とも充実しており、市民の重要な足となっている。バスを利

用する場合は路線番号を確認し、車内では盗難に注意すること。バス料金は同じ路線でも車体のタイプやエアコンの有無により異なる。

そのほか、トゥクトゥクと呼ばれる小型オート三輪のタクシー、シーロー（荷台を客席に改造した小型四輪トラック）があり、いずれも料金は交渉制である。これらは現地の生活に十分慣れてからの利用が望ましい。なお、バイクタクシーもあるが、危険度が高いためお勧めしていない。

地方へ行く場合は、航空機を利用するのが一般的であるが、鉄道や長距離バスも運行している。

(2) 空港から市内への移動

空港からはAOTによるリムジンタクシー、メータータクシー、バスなどの公共交通機関がある。電車・エアポートリンクが2010年中に開通予定。

(3) 自家用車を利用する場合

タイ国の車道は、日本と同様の左側通行のため、車両は右ハンドルであるが、交通標識がタイ語表記のみであったり、特有の交通ルールもあったり、現地の交通事情を熟知していないとトラブルに巻き込まれる可能性が高い。運転する場合は、整備不良車が多いこと、交通渋滞が著しいこと、また、無謀な走行をするオートバイが多いことに注意する。市内ではオートバイとの接触事故が多い。郊外では、スピードの出し過ぎや無理な追い越しなどが原因の重大事故が多い。また、バスなどの大型車も、無謀な進路変更を行うことがあり、巻き込み事故等に注意が必要である。

(4) レンタカーなどを利用する場合

バンコク市内各所に主要レンタカー会社の営業所がある。車両だけではなく、ドライバー付きでレンタルすることが可能です。

(5) 地図

主要書店で各種の地図が売られている。（タイ語、英語、日本語など）なお、日本語に対応しているGPSナビゲーションシステムも家電量販店等で購入可能。

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

交通事故は頻発している。特にバンコクは世界で最も交通事故の多い都市といわれている。交通事故を起こしたら、ただちに被害者の救護措置を講ずるとともに、真っ先に保険会社に連絡し、警察（緊急電話番号：191）へ連絡する。

タイでは日本と同様に、自動車・バイクの登録時に強制保険への加入が義務付けられている。強制保険は、最大補償限度額が低く、また、タイ人の任意保険加入率が高くないため、万が一にそなえ、任意保険の加入を併用することが望ましい。

(2) 救急病院

事故によるけがに対しては、通常の病院も救急病院の役割を担っている。救急車も利用できる。

(3) 車両の盗難、車上荒らし

車両の盗難や車上荒らしは多いので、施錠は忘れないこと。夜間駐車する場合には明るい場所を選ぶ。乗車中も必ずドアロックを施し、窓を閉め、一時停車の際には周りの状況に気をつけるなどの注意が必要である。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

道路標識、信号などはあまり整備されていない。タイ語のみで表記されている標識もある。地域により一方通行や右折禁止箇所が多い。特にバンコク市内は一方通行が多く、また時間別の交通規則を採用している道路もあって通行方向や走行車線が一定せず複雑なので注意が必要。

運転免許制度も十分に管理されておらず、交通マナー、規制などをよく知らない運転手も多い。

歩行者優先ではないため、横断歩道の横断にも注意が必要である。横断歩道以外の場所での歩行者の無理な横断も多いので、特に夜間の運転には細心の注意が必要である。なお、スクンビット通りなど主要道路では横断歩道以外の場所で横断した場合、200バーツの罰金が科せられる。

(2) 罰金、罰則

交通違反を犯した場合には警察から罰金を科せられる。金額は違反の程度によるが、軽微なものでも500バーツ程度かかる。違反の現場で警官に呼び止められ、運転免許証を取り上げられ、警官から違反内容、金額、所轄警察署などの書かれた紙を渡される。この紙を持って指定された警察署へ出頭し、罰金を支払うと、運転免許証が返却される。違反の現場で罰金を支払う仕組みではないので、仮に警官がその場で罰金の支払いを求めてきたとすると、それは正規の罰金ではなく賄賂である。違反者がその場で金を支払って解決しようとする例があるが、これは犯罪行為になるので、交通違反を犯してしまった場合は、正規の罰金支払い手続きをとること。

7-4 車の修理

高温多湿な気候、雨季の洪水、交通渋滞などにより、車のコンディションは日本よりも早く悪くなるので、日ごろから点検、整備が必要である。新車登録後、6年間は、車検を受ける必要はないが、5000 km、1万kmごとなど、自主的に定期点検を励行すること。(新車登録後7年以降の車両は、毎年、自動車税を支払う際、車検を受ける必要がある。)

(1) 部品

タイ国内で十数社が車を生産しているため、たいていの部品は容易に入手できる。ただし、日本から持ち込んだり、現地で生産していなかったりする車種の部品は日本から取り寄せることになり、部品代が割高となり、修理時間もかかる。

(2) 修理工場

板金、塗装を含め、修理技術の水準は高い。民間の修理工場だけではなく、自動車メーカー直営の修理工場も各所にある。工賃は、民間の修理工場のほうが安い。勝手にバッテリーや部品を交換されていたり、古いものに付け替えられていたりする場合があるので、信頼ができる修理工場を選定する必要がある。

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

一般に、アパートには電話が付設されている。新規に申込みと、設置までにかかりの時間を要する。

携帯電話も普及しており、レンタルも可。

・電話のかけ方

バンコク市内からバンコク市内にかける場合も地域番号 02 からダイヤルする。

バンコクから市外へ：地域番号からダイヤルする。

国際電話(日本へ)：001-81-市外局番の頭の 0 を取った番号-相手の番号

001 の代わりに 007、008 も使用可。

009 はインターネット経由となり、安い。

日本からタイへ：日本の国際電話- 66 - 頭の 0 を取った番号 - 相手の番号

(2) 国内電話

TOT(タイ電話公社)、TRUE等、複数の会社がサービスをおこなっている。

TOTの場合、バンコク市内通話の料金は時間に関係なく1回3バーツ。市外通話の料金は距離、時間帯、契約形態によって異なる。

公衆電話は3分間1バーツ。コイン式、カード式があり、一部の公衆電話からは国際発信も可能。

バンコク市内からバンコク市内にかける場合も地域番号02からダイヤルする。

【電話料金】

市内 3バーツ/1通話(公衆電話は3分1バーツ)

市外 1~9バーツ/1分 距離、時間帯、契約形態等により異なる。

(3) 国際電話

国際電話のプリペイドカード(TOTカード、CAT Phone Net、ハタリカード等)もコンビニ等で売っている。ただし、つながりにくく、音声もよくないときがある。

国際電話のかけ方には、ダイヤル直通とオペレータ経由の2通りがある。

(ダイヤル直通)

国際ダイヤル番号

ダイヤル番号	通話料金	備考
001	最初の1分 20パーツ 以降、2パーツ/6秒	
007	最初の1分 9パーツ 以降、毎分最初の30秒は 無料。31秒目から9パーツ	
008	最初の1分 7パーツ 以降、毎分最初の30秒は 無料。31秒目から7パーツ	
009	最初の1分 7パーツ 以降、0.7パーツ/6秒	TOTの固定電話からは 001-809をダイヤル

(オペレータ経由)

「100」をダイヤルすると、CATのオペレータに通じる。(タイ語、英語)

オペレータに通話の種類(コレクトコール、番号通話、指名通話等)、相手番号等を伝え、オペレータが相手に接続後、通話を開始する。

(4)携帯電話

携帯電話はかなり普及している。電波の届かない山間部などを除き、地方でも使用できる。携帯電話は、プリペイド式が主流(AISのone two callが一般的)で、リフィルカードがコンビニなどで購入できる。加入手続きは携帯電話会社の代理店や販売店で行うことができる。契約は法人契約と個人契約があるが、外国人が個人契約で加入する場合は、申請書、パスポート、労働許可証、保証金)、番号登録料が必要である。またプリペイド方式の携帯電話もある。

携帯電話会社は、AIS、DTAC、True Move、TOT-CAT、CAT等があり、GSM方式が主流。携帯電話機は、単純な機種なら1,000パーツ程度、広く普及している機種でも5,000パーツ程度で買える。

8-2 電信

(1)ファクシミリ

普及している。送受信器はデパートで購入できる。

(2)電報

郵便局で受け付けている。

8-3 郵便/宅配

(1)タイから送信する場合

国内郵便料金は、はがきは一律2パーツ、封書は20g以下3パーツ。小包は1kg以下20パーツ。所要日数はバンコク市内では2、3日程度、バンコク-地方間では3-5日程度。

国際航空郵便は、日本まではがき15パーツ、封書は重量によって異なるが

最低料金は10gまで14パーツ。日本までの所要日数は1週間から10日程度。

投函は郵便局か街中の郵便ポストで行うことができる。切手は郵便局で販売している。ホテルの受付に依頼することもできる。

国際宅配サービスは電話でも集荷を依頼できる。DHLやOCSのような民間の宅配サービスのほかに、郵便局によるEMSも利用できる。

(2) 日本からタイへ郵送する場合

EMSやOCSやDHL等があります。電化製品や食料品やCD等が課税される場合がある。

9. コンピューター 9-1 ハード、ソフト



(1) 調達の方法

日本製パソコンを扱う代理店、販売店が複数あり、英語OSのハードだけでなく日本語OS搭載のパソコンも購入可能である。アプリケーションソフトも一般的なものであれば日本語版が購入可能であるが、日本で購入するよりは割高である。

(2) 使用の際の注意

タイの電圧は220Vなので、240Vまで対応可能なACアダプターがあれば日本から持ち込んだノートブックパソコンをそのままコンセントに差し込んで使用することが可能。ただしタイの電圧変動は日本に比べて大きく、アダプターが故障するケースもあるため、変圧器を使い100Vに落として使用するか、スタビライザーを使用したほうが安全である。停電も日本に比べ頻繁に起こるため、デスクトップ型を使用する場合はUPS(無停電電源装置)も併用する必要がある。パソコン本体やたいの周辺機器についてはタイ国内で調達可能である。

ソフトウェアの海賊版が安価で大量に出回っているが、使用するのはもちろん違法である。

(3) 修理

タイで購入したものであれば修理が可能であるが、日本から持ち込んだパソコンは修理できない場合もある。

9-2 プリンター

タイ国内の電気店、コンピューターショップ等で購入可能。安価なインクジェットプリンターであれば2,000パーツ程度で購入できる。

9-3 インターネット環境

タイのインターネット人口は近年急増しており、すでに100万人を超えたといわれている。通信環境も日本ほどではないが、ADSL回線、衛星回線なども整備されてきている。市内にはインターネットカフェが多数あり、大きなホテル内のビジ

ネスセンターからの利用も可能である。接続コネクターの形状は、日本と同じモジュージャックであることが多い。

現地には、インターネット接続プロバイダーが数多く存在する。申し込み同日にアカウントの取得ができるところがほとんどなので、現地での滞在期間に応じて、現地アカウントを利用するか、ローミングアクセスを利用するかを選択も可能である。料金はプロバイダーや契約形態によって異なる。

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

官庁、企業の一般的な就業時間は8:30～16:30、昼休みは12:00～13:00である。タイでは日本ほど残業する習慣はない。

(2) 有給休暇

年間10～30日（前年休暇の繰り越しを含む）である。

(3) 執務室

通常のオフィスワークを行うためのファクシミリ、電話、コンピューターなどの機械も揃っており、特に問題はない。役職者は個室があてがわれている。

(4) 通勤事情

タイ人は通常、バス、モータサイ(バイク)、BTS、MRT(地下鉄)、自家用車などで通勤している。朝・夕は車が込み合う。

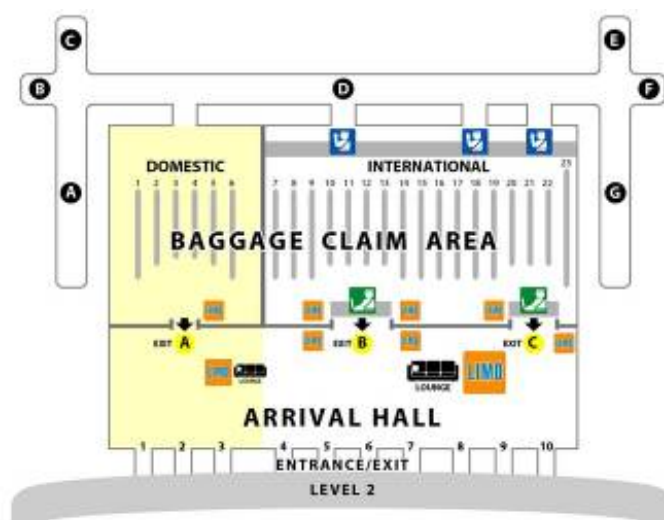
JICAの日本人専門家を含め、外国人駐在員は自家用車やタクシーで通勤している人もいるが、最近ではBTS・MRTでの通勤も増えている。

11. 出入国手続き 11-1 入国



(1) 空港施設概要

スワンナプーム空港は24時間開港している。



ウェブサイト：http://www.suvarnabhumiairport.com/main_en.php

(2) 入国手続き書類

旅券、出入国カードが必要である。

(3) 入国審査

特に問題はない。

(4) 税関検査

荷物検査はランダムに行われているが、最近厳しくなりつつあり大量の荷物や段ボール箱は検査される可能性がある。また、多量の食料の持ち込みは課税されることがある。柑橘類やカード(トランプ)、そのほか、賭博用品は輸入禁止品である。

(5) 空港内での留意点

該当情報なし。

(6) 出迎え

該当情報なし。

(7) 空港からの主な交通手段

空港内のAOTエアポート・リムジンカウンターで申し込みを行い、リムジンタクシー(市内まで(30-35k.m.まで)片道1,000バーツ程度)を利用することを勧める。一般のメータータクシー(屋根に「TAXI METER」と表示)も利用できるが、メーターを作動させない、告げた場所以外の場所に連れて行くなど、悪質なドライバーによる被害も報告されているため、注意が必要。空港から市内までの所要時間は、時間帯にもよるが、高速道路を利用した場合30分～1時間程度。

(8) その他の留意点

ロビー出口付近で出迎えを装って言葉巧みに自動車に乗せ、連れ回すという事件が頻繁に発生しており、日本からの旅行者や出張者が被害に遭っている。面識のない人が出迎えている場合は、まず身元を確認すること。

11-2 再入国

長期滞在ビザ「Section15」に切り替えた方はタイへの再入国の際、空港の入国管理で押される入国スタンプのビザ期限が現有効長期滞在ビザ期限の日付と同日付でなければならないので、必ず確認すること。

11-3 出国

(1) 出国時の概要

出国のロビーは4階にある。

ウェブサイト：http://www.suvarnabhumiairport.com/main_en.php

(2) リコンファーム

日本航空、タイ航空、全日空などはリコンファームは必要ないが、航空会社によって必要な場合もあるため、チケット購入時に確認すること。

(3) チェックイン

通常、出発時刻の2時間前となっている。シーズンによって出国手続きに時間を要する場合がありますので、チェックイン時刻には余裕を持ったほうがよい。

(4) 空港利用税

航空券料金に含まれているため、空港で支払いの必要なし。

11-4 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

在留届の抹消届を日本大使館領事部に提出する必要がある。インターネットで届を出した方はインターネットでの抹消手続きも可能。

在外選挙人登録をした方は、帰国後、転入手続きを行うと、原則として3ヶ月経過後に国内の選挙人名簿に登録されるが、登録されるまでの間、在外選挙人証を用いて不在者投票と同様の手続きで投票できる。

銀行口座は解約が必要である。

(2) 車の処分

中古車販売店を通して売却するか、個人から個人へ売却する。購入者は名義変更手続きを行う必要がある。名義変更に必要な書類は、パスポートの写し、指定の名義変更用紙(要署名)、車両登録書原本、車両本体であり、これらを持って購入者が陸運局へ出向き新規登録する。登録の際、登録料と譲渡税(陸運局による車の査定額によって決められる)を支払う必要がある。

(3) 家財道具の処分

不用品買取業者を通じて売却したり、知人を通じて処分したりするのが一般的である。そのまま残してアパートのスタッフに依頼すれば処分してくれることも可能である。また、現地発行の日本語情報紙に掲載して処分する方法もある。

(4) 住宅の明け渡し

保証金の返却がスムーズに行われなかったこともあるため、帰国が決まったら、なるべく早く家主に帰国日時を文書で通知しておくこと。

(5) 外貨持ち出し規制

1万米ドル以上の現金の持ち出しについては、その現金の出所を示す証明(日本からの送金通知など)が必要である。

12. 治安、緊急時の心得

12-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

バンコクでは、タクシン派(反独裁民主戦線: United Front for Democracy Against Dictatorship(UDD)、通称赤シャツ隊)や反タクシン派(民主化市民連合: People's Alliance for Democracy(PAD)、通称黄色シャツ隊)のデモや集会が時折行なわれてきた。



※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

2010年2月26日の最高裁判所によるタクシン元首相の資産没収の判決後、3月中旬からUDDによるバンコク都内のデモは激化、4月に入り、王宮前広場に加え、バンコク最大の商業地区であるラーチャプラソン地域も占拠、同地域の商業施設、ホテル等が1ヶ月以上の休業に追い込まれた。

政府側は、3月に治安維持法を、4月には非常事態宣言を発令し、対抗したものの、軍及び警察内部にもUDDに組する者がおり、事態は膠着状態となった。

最終的には5月19日に治安当局は強制排除を実施。排除は成功し、UDD幹部の大半は同日昼過ぎに投降したが、投降を不満とするUDD内の過激派による商業施設への放火・略奪等が発生。政府側は同日より夜間外出禁止令を発令し、過激派の逮捕と事態の沈静化に努め、22日には概ね事態は沈静化、24日からJICA関係者の大半も通常の業務を再開、29日には夜間外出禁止令も解除された。

(2) 対処法

ア ローミング可能な携帯電話を所有している場合はその電話番号を、かかる電話が無い場合は、宿泊先の電話番号を、関係機関へ事前に連絡する。

イ タイ滞在中は、次のメディアなどから最新情報を収集するとともに、集会やデモ等には近づかず、不測の事態に巻き込まれないように十分注意する。

【日本政府】

- 在タイ日本国大使館ウェブサイト <http://www.th.emb-japan.go.jp/>
- 外務省「海外安全ホームページ」 <http://www.anzen.mofa.go.jp/>
- 「各国・地域情勢」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/thailand/index.html>

【日本語メディア】

- インターネット
 - バンコク週報 <http://www.bangkokshuho.com/>
 - ダコ・ニュースクリップ <http://www.newsclip.be/>
- ラジオ
 - Jチャンネル24: FM93.75
 - (インターネット <http://www.j-channel.jp/>)

【英語メディア】

- インターネット
 - バンコクポスト紙 <http://www.bangkokpost.com/>
 - ネーション紙 <http://www.nationmultimedia.com/home/>
 - MCOT <http://www.mcot.net/EnglishNews>
- ラジオ
 - Wave FM88 FM88
 - 95.5VirginHitz FM95.5

大使館では、一定の情報網を設けて安全対策に関する情報収集を絶えず行っており、随時関係者に安全情報を提供している。なお、大使館と日本人会を中

心に、緊急時の連絡網が整備されている。なお、長期滞在者には大使館のメールマガジンの購読を勧めている。

クーデターなどが発生した場合の留意事項は次のとおり。

基本的には、現場に近寄らず自宅で待機してテレビ・ラジオなどで情報を集めるとともに、関係機関からの指示に従う。カウンターパートやタイ人の友人からの情報にも注意する。

テレビは非常事態発生時には報道制限がかかったりして必要な情報が得られないことがある。そうした場合、CNNやラジオジャパンなどの短波放送やインターネットが有効な情報源となるので、これらも活用して情報収集に努める。

暴動などが長期化すると、デパートや商店が長期間閉店となる場合がある。流言飛語に惑わされて買い物に殺到することにならないよう、食料、ガソリン、医療品などの必要最低限の備蓄を日ごろから心がける。

外出している時に次のような事態に遭遇したら、近くで騒ぎなどが起こっている可能性があるため、特に注意が必要。

- ・大人が走っている。または逃げている。
- ・群衆が一様に同じ方向を注視している。ビルの屋上や窓に人が群がっている。
- ・喚声や叫び声が聞こえる。
- ・タクシーやバスなどの車の往来が少ない。
- ・周りの車が急に減速したり、前方の車が急にUターンしたりする。
- ・ふだん渋滞しない場所で渋滞している（事故の場合もあるが、その先でデモや騒乱が発生している可能性がある）。
- ・軍用トラックが市内を走っているか、街角に集結している。
- ・警察官がやたらと目につく。武装した警察官がいる。検問が多い。
- ・平日なのに閉まっている店が目立つ。
- ・首相官邸や国会議事堂近辺の警備が厳重になる。
- ・通行人がやたらに少ない（どこかの騒ぎに参加している可能性がある）。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

タイは比較的安全な国という認識が定着していますが、犯罪件数は増加しており、在タイ日本大使館によれば、邦人保護取扱件数は、17年連続で世界一とのこと。バンコク市内では、外国人観光客等を対象とした睡眠薬強盗や詐欺、窃盗（スリ、置き引き、ゲストハウスでの盗難など）が多く、長期滞在者でも被害にあることがある。また、一般の観光客等の旅券の盗難・紛失件数も多いとのこと。

【具体的な被害状況】

- ・ 夕方、外国人が多いスクンビット通り近くで、数人に囲まれて脅され、むりやりポケットの中の現金を盗られた。
- ・ 夜、女性に抱きつかれてタクシーに乗ろうと誘われ、タクシーが止まったらさ

っさと去っていった。財布をすられていた。

- ・ デパートのスーパーで高いところの商品を手にとろうとした際にカートに入れておいたハンドバッグを盗まれた。
- ・ サンデーマーケットで数人に囲まれショルダーバッグを引っ張られたような気がしたが、後で中を確認すると携帯電話がなくなっていた。
- ・ 長距離バスの中で知り合った人から勧められた飲み物を飲んだら、眠気に襲われ、寝ている間に財布やパスポートを盗られた。気付いてからも頭痛が続いた。飲み物に睡眠薬が入っていたらしい。
- ・ 歩道を歩行中、後ろから来たオートバイに乗った人にショルダーバッグを奪い去られた。
- ・ 雨の日に傘に入れてくれという女性を傘に入れてあげたら、ズボンのポケットから財布を盗まれた。

【取るべき安全対策】

- ・ 見知らぬ人が親しげに話し掛けてくるときは十分注意してください。
- ・ 外国人がよく行くショッピングセンター、デパートやバス、BTSではスリや置き引きに注意してください。
- ・ パスポートのコピー等、身分を証明するものを必ず携帯し、パスポート(現物)を携行するときは盗難・紛失防止に十分注意してください。
- ・ 女性の一人(特に夜間)でのタクシー乗車は極力避ける。
- ・ バイクタクシーは危険度が高いため、お勧めしていません。
- ・ ローミング可能な携帯電話を保有している場合は、関係機関に電話番号を事前に連絡してください。また、携帯電話のない方は、緊急連絡が取れるように、ホテル等の連絡先をお知らせください。

(2) 住宅の防犯対策

住居を選ぶとき、警備員が常時いるかどうか、窓の外から侵入される危険はないかなど、安全対策チェックリストに基づいて確認が必要。周辺地域の治安や環境にも注意し、なるべく日本人の多く住んでいる地域や場所を選ぶようにする。近くに住んでいれば情報交換が可能になり、緊急時の連絡も早くできる。バンコク市内であれば、スクンビット通り(プルンチット、pronポン、トンロー等)の周辺に多くの日本人が住んでいる。

バンコクの日本人向けのアパートやサービスアパートであれば、警備も行き届いていて、大きな心配はいらないが、地方都市で一戸建てやタウンハウスなどに住む場合などは、以下のような対策を取ることをお勧めする。

- ・ 室内・室外とも照明などにより明るくする。留守のときでも最小限の照明はつける。
- ・ 出入口や寝室の施錠、敷地の警備をしっかりとる。必要に応じて、内側にドアチェーンや鍵を取り付ける。
- ・ 電話などの連絡手段を確保するとともに、非常事態を近隣に知らせるようなメガ

ホンやサイレンを設置すればなおよい。

- ・寝室にまで押し入れられないために、賊がねらいそうな高価な電気製品(テレビ、ビデオ、オーディオなど)は居間など、寝室から離れていて、かつわかりやすい場所に置いておく。

- ・バルコニーやベランダが隣と隣接していたり、外壁沿いに水道管や下水管が渡してあったりする物件は、賊がよじ登ってこられる構造なので避ける。

- ・非常階段も確認しておく。

- ・入り口が建物の正面にあること。裏の警備は一般的に手薄なので要注意。

(3) 市中での防犯対策

- ・多額の現金および高価な貴金属は持ち歩かない。

- ・買い物での支払いなどで人前で現金をさらさない。

- ・道を歩く場合は車道と反対側にかばんを持つ。車道側に持つと、オートバイにすられることがある。

- ・万が一盗難等の被害に遭った場合は警察へ届け盗難証明をもらうとともに、領事部へ届ける。

(4) 注意すべき場所、危険地域

1) 日本政府のタイ渡航情報(危険情報) (別図1参照)

- ナラティワート県、ヤラー県、パッタニー県及びソクラー県の一部(ジャナ郡、テーパー郡及びサバヨイ郡)

:「渡航の延期をお勧めします。」

- ソクラー県(ジャナ郡、テーパー郡及びサバヨイ郡を除く)

:「渡航の是非を検討してください。」

- シーサケート県のカンボジアとの国境付近のプレアビヒア寺院周辺地域

:「渡航の是非を検討してください。」

- 首都バンコク

:「十分注意してください。」

- 非常事態宣言発令対象の6県(ノンタブリー県、サムットプラカーン県、パトゥムターニー県、コーンケン県、ウドンターニー県及びナコンラチャシーマー県)

:「十分注意してください。」

2) JICA 安全対策措置対象地域

- 南部5県(サトゥーン、ソクラー、パッタニー、ヤラー、ナラティワート各県)【一般渡航禁止】

- ミャンマー国境の山林地帯

- 世界遺産に登録されたプレアビヒア寺院(タイ側呼称:カオ・プラ・ウィハーン遺跡)及びその周辺地域【一般渡航禁止】

3) その他

王宮前広場や首相府前、民主記念塔、戦勝記念塔などでデモが行われることがある。事前に情報を入手して、デモ隊等に近づかないように注意すること。今年3月から5月までにUDDデモが行われ衝突等が生じた場所については、別添2を参照。

(5) 被害時の心得

犯罪者は銃器を持っていることが多いため、無抵抗が基本である。賊が去ったあとは直ちに警察に連絡する。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

局地的に洪水や土砂崩れなどが発生している。市内でも、道路が冠水して自動車が通れなくなったり、雨による停電や電話の不通が時折ある。

(2) 防災対策

アパートを決める際は、雨季の排水の状況を確認すること。

市内の冠水は数時間で引くことがほとんどであるが、万が一に備えて、洪水が予想される場合は、食料品や飲み物、ろうそくなどを確保しておくこと。また、長期の停電に備え、アイスボックスや携帯用のガスコンロも用意しておくことよ。

特に高層アパートでは、停電時にエレベーターが使用できなくなったり、水道水が出なくなったりすることがあるため、十分な対策が必要である。

(3) 被災時の心得

近隣の人と助け合うことが肝要である。そのためにも、日ごろから近隣と積極的にコミュニケーションを持つのが望ましい。

12-4 緊急連絡先電話番号

連絡先	担当者	電話番号	備考
在タイ日本国大使館	代表	02-207-8500, 02-696-3000	日本語
	領事、旅券関係	02-207-8501, 02-696-3001	日本語
	邦人保護関係	02-207-8502, 02-696-3002	日本語
	査証関係	02-207-8503, 02-696-3003	日本語
	日本人の生命・身体に関わる重大な事件・事故等の緊急電話	(携)081-846-8265 (携)081-809-6074	夜間・休日の緊急のみ
在チェンマイ日本国総領事館	代表	053-203-367	日本語
	緊急電話	(携)089-956-2961	日本語
タイ国観光警察(ツーリストポリス)		1155(内線1又は2/通訳)	英/タイ語
チェンマイツーリストポリス		053-248-130	英/タイ語
バンコク首都圏警察部	バンコク都内全域を管轄	191または123	タイ語
日本人がよく利用するバンコクの病院	サミティヴェート病院	02-381-3491	日本語
	バムルンラード病院	02-667-1501	日本語
	バンコク病院	02-310-3257	日本語

13. 社交

13-1 風俗習慣



タイ人の多くは敬虔な仏教徒である。また、王室に対する尊敬の念が強い。タイ人の価値観や習慣を尊重し、理解することが重要である。

年末には、アパートの管理人や日ごろお世話になっている人に、ちょっとしたプレゼントを渡すとよい。ただし、日本のお歳暮のように値の張るものは必要ない。贈り物をする場合は、必ずカードを添えて贈り物の理由を明らかにすること。何もないと相手に戸惑いを与える。

映画館では上映前に国王賛歌が流れる。起立し、直立不動の姿勢をとること。

劇場や行事などの場合も同様である。また、公共の場所では8:00と18:00に国歌が流される。その際も、直立不動の姿勢をとること。

13-2 パーティーでの留意点

欧米式マナーとエチケットを心得ていれば、礼を失することはない。特に、レディーファーストを実践するのが紳士の条件であることを忘れてはならない。

通常、男性はダークスーツ、女性はドレスシーなワンピースで十分である。ロングドレスは特に必要ないが、現地で安く仕立てることができる。なお、結婚式・披露宴の場合には、女性は黒いドレスを避けたほうがよい。

冷房が強く効いていることが多いので、長袖のワンピースがあるとよい。また、王室関係者が出席している場合も長袖着用が望ましい。

招待状などに出欠の回答が求められている場合は、必ず返事をする。

会場では積極的にさまざまな人と話し、交流を図ることが肝要である。ただし、ビュッフェテーブルの前では立ち話をしないこと。

パーティーは2時間が目安である。必要以上に長居はしないこと。

13-3 来客時の留意点

料理を出す場合は、宗教上、健康上の理由で制限されている食材に注意すること。たとえば、イスラム教徒は豚肉、ヒンズー教徒は牛肉を食べない。

タイ人は招待していない友人を連れてくることも多いが、柔軟に対応すること。

13-4 訪問時の留意点

タイ人に家庭で料理をもてなされることは少なく、レストランを用いるのが一般的である。必要以上の長居はしないこと。

訪問する際は、あらかじめアポイントメントをとっておくこと。手土産は必ずしも必要ではない。

13-5 禁止されている言動(タブー)

・王室に対する尊敬の念が強いため、王室への軽口は厳禁である。また、国旗を粗末に扱ってはならない。

・女性は、僧侶に触れたり近寄ったり、話しかけたりしてはならない。

・頭は神聖なものであるため、タイ人の頭や髪の毛に触れてはならない。

・足で方向を示してはならない。

・短パン、タンクトップ、サンダルなど極端に肌を露出した服装で外出しないこと。特に寺院では禁止されている。

・第三者のいる前で、相手の自尊心を傷つけるような言動は厳禁である。

・王室出席の公式行事には、男性はタイ服ではなく背広、ネクタイ着用が望ましい。

13-6 日本人会

タイ国日本人会は大正2年(1913年)9月に設立され、創立90周年を超えた世界でも長い歴史の日本人会。本館(サトーン)、別館(スクンビット)がある。各種のサークル、同好会があり、「すくすく会」では日本人の妊婦さん、お母さん、赤ちゃんのためのさまざまな活動(出産準備教室など)を行っている。

入会資格は、タイ在住の18歳以上の日本人で、家族で赴任している場合は夫婦で入会するシステムになっている(18歳未満の子弟は、両親の入会のみでクラブなどの施設が利用できる)。入会すると、日本人会誌『クルンテープ』(月刊)や行事、催し物の案内が送付されるほか、図書館等施設の利用が可能である。詳しくはホームページを参照。 <http://www.jat.or.th/>

13-7 JICA帰国研修員同窓会／帰国青年同窓会

タイの帰国研修員は”JICA Alumni Association (Thailand)”に任意で加入している。事務局を中心としてJICA関連事業への支援活動のみならず、ボランティア活動など、独自の活動を積極的に展開している。なお、現在の会長のナコン氏は労働省職業能力開発局長で現在三期目。2010年には同窓会への貢献等の理由から日本の外務大臣表彰を受賞。

また、青年招へいプログラム参加者で構成される帰国青年同窓会”The Friendship Youth Alumni Association of Thailand”も、別途活動を行っており、青年招へいプログラムの出発前現地研修にボランティアとして協力するなど、組織的に活動を行っている。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

バンコクには小・中学部からなる日本人学校(泰日協会学校)があり、多くの日本人家庭が子弟を通わせている。一方、外国人居住者も多いことから複数のインターナショナルスクールがあり、英語による教育を受けさせるためにインターナショナルスクールを選択することも可能である。

(2) 日本人学校

泰日協会に属する私立学校、泰日協会学校がある(詳細はホームページ参照)。在籍生徒数は、小学部が約1,900人、中学部が約550人で、教員は日本からの派遣を含めて約80人である。また、2009年4月にバンコクの南方チョンブリ県シラチャ市にシラ



(写真7) 泰日協会学校(バンコク日本人学校)

チャ校(シラチャ日本人学校)(<http://www.tjas.ac.th/sriracha/index.php>)が新たに開校された。教育カリキュラムは、日本の学校とほぼ同じである。日本から転入する場合は、海外子女教育振興財団から教科書の交付を受けて持参する必要がある。

ホームページ: <http://www.tjas.ac.th/>

<海外子女教育振興財団>

URL: <http://www.joes.or.jp/>

E-mail: service@joes.or.jp

・東京

住所: 〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

TEL: 03-4330-1349 FAX: 03-4330-1355

・関西分室

住所: 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル2階

TEL: 06-6344-4318 FAX: 06-6344-4328

(3) 現地校、外国人学校

インターナショナルスクールには次に掲げるような学校があり、また、このほかにも新設校などが複数存在している(授業料などは学校ごとに異なり、ほかにも納入すべき費用があるので、各校に十分確認すること)。詳細はPart3イエローページ参照。

・International School Bangkok (ISB)

・Ruamrudee International School (RIS)

・New International School Thailand (NIST)

・The Bangkok Patana School

(4) 幼稚園・保育園

日本語の幼稚園は、スクンビット通り周辺に10カ所ほどある。インターナショナル幼稚園に子どもを通わせている日本人少なくない。それぞれの園児数は、少ないところが70人、多いところで250人程度。通常の保育時間は9:00～14:00であるが、中には時間保育・短期保育、季節限定プログラムを実施している園もある。幼稚園を選ぶ際はその園の方針、環境などを直接面談等で確認し自分に合う園を選ぶとよい。(幼稚園一覧・詳細はPart3イエローページ参照)。

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

・日本人会図書館

日本人会会館本館および別館に日本人会会員が利用可能な図書室が設置されている。このうち、子供向けには、別館に「バンコク子ども図書館」が開設されている(詳細はPart3イエローページ参照)。

・国際交流基金図書室

15. 家庭の使用人



バンコクでは現在でも人件費が比較的安いことから、日本人家庭でも家事を担う家政婦および私用車の運転手を使用人として雇うことが多い。

15-1 運転手

(1) 雇用

交通混雑が著しく、交通倫理に対する観念が日本とやや異なるため、また事故に遭遇した際の処理を考慮して、運転手を雇用することが望ましい。

一般に、前任者からの引き継ぎや知人の紹介などで決めることが多い。面接の上、必要ならば試運転をしてもらい、技術やマナーを見る。IDカード、運転免許証で身元を確認すること。

トラブルに備え、契約書を作成し、雇用条件は、ほかの職場の運転手と同程度にするとよい。2010年現在の賃金の相場は、月8,500～10,000バーツである(超過勤務手当、食事代等含まず)。

一般的な契約事項は次のとおりであるが、ケースバイケースで決めるとよい。

- ・賃金(月8,500～10,000バーツ)、超過勤務手当(1時間あたり50～60バーツ)、通勤手当、ボーナス(年1回12月に給料1カ月分支給)、退職手当、食事代、交通費、そのほかの手当、昇給、支払い方法(月末1回、または月2回)。
- ・勤務時間、休日など。
- ・飲酒運転、無断欠勤、遅刻、自動車の無断使用、不正行為などの禁止事項、解雇条件。
- ・試用期間など。

(2) 日常管理

走行距離、ガソリン代などを記録する運転日誌(ノート)を作っておくとよい。

また、年一回、健康診断を義務付けると良い。

(3) 教育指導

一般に運転マナーが悪く、速度を出し過ぎる傾向にある。そのつど、注意を与えることが必要である。

(4) その他の留意点

雇い主のほうから解雇する場合は、給料1カ月分と、ケースバイケースだが、その月の給料を支払う。

15-2 家政婦／夫

(1) 仕事の種類と人数

通常、1人を雇用して炊事、洗濯、掃除など家事全般を依頼する。最近では、洗濯、掃除のみ週3回という形が増えている。

(2) 雇用

前任者からの引き継ぎか、知人の紹介が望ましい。住み込みまたは通い(パー

トタイム)の方法があり、身元(IDカード)、健康状態、語学能力、調理技術などを考慮して面接で選考する。

給料は、通いか住み込みか、下働きのみか、料理もでき、仕事を任せられるかによるが、1日勤務時間が8時間以上または住み込みの場合は月7,000～10,000バーツ程度である。そのほか、技能や働きぶりに応じて100～200バーツを加算する。また、勤務時間外労働については、残業代を支払う。

トラブルに備え、契約書を作成しておいたほうがよい。雇用条件は、なるべくアパート内のほかの家政婦と同様にしたほうがよい。

一般的な契約事項は次のとおりである。

- ・賃金、超過勤務手当、ボーナス、退職手当、交通費(通いの場合)、支払い方法(月末1回、または月2回)。
- ・勤務時間、休日など。
- ・仕事の内容、禁止事項(身内を含めて、他人を使用人部屋に入れないこと)、解雇条件(窃盗、伝染性疾患、職務怠慢など)。

(3) 日常管理

仕事の内容、就業形態、勤務時間、給料、ボーナス、休暇・休日(曜日、祝日の扱いなど)、病気の場合などの対応について、きちんと話し合っておく必要がある。雇用中ははじめをきちんとつけさせ、甘やかさず、主婦の補助として業務を遂行するよう指導する。

雇い主のほうから解雇する場合は、給料1～2カ月分とその月の給料を支払う。

解雇する場合は、あとあとトラブルがないよう考慮すること。

15-3 庭師、ガードマンなど

ガードマンは、必要に応じて(一戸建ての場合など)雇用できる。庭の手入れは、必要なときに専門の会社に依頼できる。アパートでは必要ない。

16. メディア 16-1 新聞、雑誌



(1) 現地発行の日刊紙

英字紙には朝刊紙「Bangkok Post」と「The Nation」の2紙があり、戸別配達している。購読料は月600バーツ程度であり、半年、1年での契約を行うケースが多い。

日本語紙には「タイ経済」「バンコク週報」(ともに週刊)があり、戸別配達している。

タイ語紙は十数紙あり、宅配サービスしている。購読料は月240～450バーツ前後である。

(2) 日本の日刊紙

「読売新聞」及び「日本経済新聞」の衛星版がバンコクで印刷されており、日本

国内版とほぼ同じ内容である。「朝日新聞」の衛星版はシンガポールから輸送され、午後には配達される。詳細はPart3イエローページ参照。そのほかの日本語紙は、OCS(電話:02-938-5410)に注文すれば1日遅れで宅配される。購読料は新聞により異なるが、月2000～3000バーツ程度。

(3) 欧米紙／誌

「International Herald Tribune」「Asian Wall Street Journal」などがスーパーなどで売られており、宅配も可能である。

(4) 日本の雑誌、書籍

日本語書籍・雑誌を取り扱っている書店が数店(紀伊国屋、東京堂書店等)ある。週刊誌等も購入可能。価格は日本国内よりは割高である。店頭にはない本は書店で取り寄せることもできるが、1カ月から1カ月半程度かかる。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

バンコクには50局以上のFM局とAM局がある。短波放送(9.655MHzと11.905MHz)で毎晩21:00から20分間、日本語の「ラジオ・タイランド」が放送される。ほかに日本語放送としては次の局がある。

・Jチャンネル24: FM93.75

また、タイの英語放送には以下の局がある。

・Wave FM88: FM88

・95.5VirginHitz: FM95.5

(2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

受信可能である。放送時間や周波数、番組などについてはNHK国際放送局企画編成部に請求すれば、最新の資料を送ってくれる。また、NHKバンコク支局(電話:02-246-7950～4)でも入手できる。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

NHK国際放送局企画編成部

所在地: 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話: 海外から: +81-3-3465-1111

(平日／日本時間10:00～19:00)

日本国内から: 0570-066066

(NHK視聴者コールセンター／24時間受付)

E-mail: nhkworld@nhk.jp

<周波数表、番組表の入手>

URL: <http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radio/shortwave/index.html>

(周波数表、番組表確認)

16-3 テレビ

(1) 地上波放送局

放送局は6つある。すべてカラー放送で、朝5:30前後から深夜まで放送されている。民放は1チャンネルのみで、残りは政府・軍部の管轄・運営となっている。日本や欧米の映画もタイ語の吹き替えで放映されている。

(2) 衛星放送、ケーブルテレビなど

衛星放送も受信でき、また、多くのアパートにはケーブルテレビが配信されている。現地の衛星放送にはUBCがあり、それぞれ数十チャンネル(ニュース、スポーツ、映画などを英語で放送)を視聴できる。

なお、タイでのサービス地域や視聴料金・受信方法についてはUBC(United Broadcasting Corp.:02-271-7171)またはNPS(Nippon Production Service:02-247-3210~4)へ問い合わせること。

<NHKワールドTV問い合わせ先>

NHK国際放送局企画編成部

所在地: 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話: 海外から: +81-3-3465-1111

(平日/日本時間10:00~19:00)

日本国内から: 0570-066066

(NHK視聴者コールセンター/24時間受付)

E-mail: nhkworld@nhk.jp

<番組表の入手>

URL: <http://www.nhk.or.jp/nhkworld/english/tv/schedule/index.html>

<NHKワールド・プレミアム問い合わせ先>

(株)NHK情報ネットワーク「カスタマーセンター」

所在地: 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町7-13

電話: +81-3-5458-6601

E-mail: premium@nhk-jn.co.jp

<番組表の入手>

URL: http://www2.nhk-g.co.jp/wp/program/week/disp_e.asp

(週間番組表確認)

FAX: +81-3-5454-0888 情報番号259

(週間番組表FAXサービス)

(3) テレビ受信

受信方式はPAL B/G方式で、日本のNTSC方式とは異なるため、日本仕様の受像機では受信できない。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習



17-1 スポーツ

(1) ゴルフ

バンコク近郊には多くのゴルフコースがあり、ほとんどのコースでだれでもビジターでプレーすることが可能である。

(2) テニス、フィットネス

テニスコート、フィットネスクラブともにバンコク市内に多数ある。テニスコートはナイタープレーが可能などところもある。

(3) その他のスポーツ

バンコク市内にはボーリング場、バドミントンコート、バスケットボールコート、フットボールグラウンド、アイススケート場、ローラースケート場、射撃場、乗馬クラブ、サッカーコート、フットサルコートなどさまざまなスポーツ施設がある。合気道、柔道、剣道、空手の道場もある。海まで足を伸ばせば釣りやマリンスポーツも楽しめる。

17-2 趣味

在留日本人を対象としたカルチャースクールがあり、タイ料理、絵画、クラフトなどの各種講座が開講されている。茶道やお琴の教室もある。このほか、タイ舞踊、タイマッサージ、伝統音楽、ピアノ、バイオリン、ハープなどの西洋楽器、社交ダンス、バレエ、陶芸など、さまざまなスクールがある。

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

バンコクには数多くの語学学校がある。タイ語だけでなく英語、中国語、フランス語、ドイツ語などの学習が可能な学校もある。グループレッスン、個人レッスン双方対応可能。

(2) 家庭教師

語学学校で家庭教師を紹介してもらうこともできる。日本語や英語で教える語学教師は多い。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

国境近辺や南部の一部地域については、JICA安全対策措置において渡航禁止となっている地域があるので注意する。

18-2 主要観光地・保養地

一般の旅行ガイドブックなどに多数紹介されているので、利用するとよい。また、TATのホームページ(<http://www.tourismthailand.org/>)等でも情報が提供されている。

18-3 旅行代理店

日本人を対象とした旅行代理店が多数あり、JTBやHIS等日本に本社のある会社もある。国内旅行の手配のほか、各種パッケージツアーの募集も行っており、価格・サービスは旅行会社によってさまざまである。

19. 私財の輸送、 19-1 家財道具 引き取り、購入



(1) 輸送業者

日本人経営の会社、日本国内の輸送会社との提携会社など、多数の輸送業者がある。現地発行の日本語情報紙やホームページ等に詳細な情報が掲載されているので、それらも参考にするとよい。

(2) 輸入手続き

免税特権を持たない場合でも、タイへ入国する際、自動車、武器、食料を除き、本人あるいはその職業において必要かつ適量の身の回り品の輸入税が免除される。これらの所持品は、本人入国日の1カ月前または6カ月後以内にタイに持ち込まなければならない。

免税の対象となる身の回り品は、本人が使用する適量の衣料、靴、化粧品、装身具などである。

通関手続きに必要な書類は以下のとおりである。

- ・IDカード(身の回り品の場合)
- ・パスポート(身の回り品・家庭用品の場合)
- ・船荷証券(Bill of Lading)
- ・荷渡し指図書(Delivery Order)
- ・インボイス(ある場合のみ)
- ・代行依頼書(代理人に通関手続きを依頼する場合のみ)

問い合わせ先は以下のとおり。

- ・税関局 通関手続きおよび輸入税査定部 特権および投資奨励課

(Privileged Goods and Investment Promotion Sub-Division, Formalities and Assessment Division, Customs Department)

電話: +66-2-249-2314

(3) 輸入貨物の受け取り港

航空便はスワンナプーム国際空港、船便はクロントイ(バンコク)港に到着する。

19-2 自動車

(1) 一般状況

新車、中古車とも現地で容易に購入できるので特に問題はない。電車(BTS、地下鉄)を普段の通勤等に利用できれば自家用車を購入する必要性は低いが、

電車が利用できない場合はタクシーを利用することが多くなるが、トラブルや犯罪もあることから、自家用車を利用の方が安心である。

(2) 輸入手続き

新車の輸入は高額の入税がかかるため、現地で購入することを勧める。

(3) 現地での購入

新車を購入する場合は、現地ディーラーから必要な手続き、書類などを教えてもらうとよい。大まかな手続きは、車種選びから始めて、契約書作成(手付金が必要)、納車、支払い(直接払いまたはクレジットカードの利用)、登録書類作成、仮ナンバープレートの取り付け、保険加入(強制と任意)、陸運局への登録申請、登録証明書の受領とナンバープレートの取り付け、となる。

中古車購入は、個人から購入する場合と中古車会社から購入する場合がある。いずれの場合も、委任状、労働許可証の写しまたは在留証明書(個人から購入する場合)／中古車会社所有者のパスポートの写し(中古車会社から購入する場合)、譲渡申請書(中古車会社または陸運局事務所にある)、名義変更費用が必要。なお、個人から購入する場合、あとあとのトラブル回避のため、契約書を作成するほうが無難である。

(4) 自動車登録

毎年更新が必要であり、そのつど自動車税を納める。金額は排気量により異なる。

正式登録までは仮ナンバー(赤いナンバープレート。午後6時以降は走行禁止)での走行となり、正式ナンバープレートの取得まで、通常は1ヶ月程度要する。登録費用は、排気量、購入者が個人か法人かによって異なるが、普通乗用車の場合、個人で2000～5000バーツ、法人で4000～1万バーツを目安にするとよい。このほか、仮ナンバーの使用にデポジット費用がかかる(正式ナンバー取得時に返却される)。

(5) 免許証取得

有効期間内であれば、国際免許証からタイの免許証へ切り替えることができる。

また、教習所があるので新規の免許取得も可能である。運転免許証は、毎年更新が必要である。

(6) 保険、税金

保険には、強制保険と任意保険がある。任意保険にも必ず加入しておくこと。

20. 地方都市



中部の主な都市: アユタヤ、パトゥムタニ、カンチャナブリ、パタヤ、チャチェンサオ等

北部の主な都市: チェンマイ、チェンライ、パヤオ、メーホンソーン、スコータイ等

東北部の主な都市： ナコンラーチャシマ、コンケン、ウボンラチャタニ、ウドンタニ、ノンカーイ、ムクダハーン等

南部の主な都市：プーケット、ナコンシータマラート等（南部にはJICA安全対策措置において渡航禁止になっている場所があるので注意が必要。）

Part 3 イエローページ

※特に記載のない限り、JICA事務所のあるバンコクの情報が中心になっています。

1. JICA 事務所

所在地	31st Floor, Exchange Tower, 388 Sukhumvit Road, Klongtoey, Bangkok 10110
TEL/FAX	TEL: +66-2261-5250 FAX: +66-2261-5262
URL	URL: http://www.jica.go.jp/thailand/index.html
E-mail	E-mail: ti_oso_rep@jica.go.jp

2. 日本国大使館

所在地	77 Witthayu Road, Lumpini, Pathum Wan, Bangkok 10330
TEL	TEL: +66-2207-8500
URL	URL: http://www.th.emb-japan.go.jp/

3. 緊急連絡先電話番号

連絡先	担当者	電話番号	備考
在タイ日本国大使館	代表	02-207-8500, 02-696-3000	日本語
	領事、旅券関係	02-207-8501, 02-696-3001	日本語
	邦人保護関係	02-207-8502, 02-696-3002	日本語
	査証関係	02-207-8503, 02-696-3003	日本語
	日本人の生命・身体に関わる重大な事件・事故等の緊急電話	(携)081-846-8265 (携)081-809-6074	夜間・休日の緊急のみ
在チェンマイ日本国総領事館	代表	053-203-367	日本語
	緊急電話	(携)089-956-2961	日本語
タイ国観光警察(ツーリストポリス)		1155(内線1又は2/通訳)	英/タイ語
チェンマイツーリストポリス		053-248-130	英/タイ語
バンコク首都圏警察部	バンコク都内全域を管轄	191または123	タイ語
日本人がよく利用するバンコクの病院	サミティヴェート病院	02-381-3491	日本語
	バムルンラード病院	02-667-1501	日本語
	バンコク病院	02-310-3257	日本語

4. ホテル (主なホテル)

ホテル名	TEL	FAX	住所
Somerset Lake Point Serviced Apartments	02-663-1234	02-663-1250	41 Sukumvit 16, Klongtoey, Bangkok 10110
Westin Grande Sukhumvit Hotel	02-207-8000	02-254-4431	259 Sukhumvit Road, Bangkok 10110

5. レストラン

名称	料理	TEL	場所	夕食の標準的な料金	個室	備考
老山東ペキンレストラン	中華	02-656-1615	チットロム(プレジデントタワー地下1階)	300-600B	あり	
むさし野	和食	02-258-8570	ソマーセット・レークポイント, スクンビット・ソイ 16	400-1000B	なし	むさし野
ココ(タイムズスクエア店)	タイスキ	02-250-0050	スクンビット・ソイ 12-14の間	400-800B	あり	
ココ(プロンポン店)	タイスキ	02-259-8188	スクンビット・ソイ 39	400-800B	あり	
ソンブン(ラチャダー店)	タイ海鮮	02-692-6850	地下鉄ホイクワン駅出口3番出てすぐ	400-800B	あり	
大戸屋	日本料理			150-300B		デリバリーサービスあり

6. 食料品

商店名称	TEL	場所	備考
フジスーパー1号店	02-258-0697	スクンビット・ソイ 33/1	
フジスーパー2号店	02-662-1250	スクンビット・ソイ 39 からニューベップリ ーロードへ出る途中	
フジスーパー3号店	02-261-9901	日本人会別館近く	
伊勢丹スーパー	02-255-9898	伊勢丹デパート5F(サイアム、セントラ ルワールド横)	生鮮食品の梱包・空港までの配達あり 第三国へ運びたいとき便利
ジャスコ		タイランドカルチャーセンター駅近く	
ロビンソン		BTS アソーク駅徒歩 3 分	JICA タイ事務最寄りの食料品店

7. 家電製品

商店名称	TEL	場所	備考
Fortune		地下鉄プララム9駅近く	コンピュータ関連
MBK(マーブンクロン)		ナショナルスタジアム駅の南側、東急の 横(サイアム駅からも徒歩可)	携帯電話
Carrefour(カルフル ール)	02-661-5580	ラマ4通りからスクンビット・ソイ 26 に入 る角	テレビ、冷蔵庫、洗濯機、その他家電類
Tesco Lotus	02-672-8585	カルフル向かい	テレビ、冷蔵庫、洗濯機、その他家電類

8. 工具・素材

商店名称	TEL	場所	備考
Office Depot	02-261-9660	BTSプロンポン駅近く	文具、素材等
NEO	02-260-0460	フジスーパー1号店近く	百元ショップ系雑貨店(1個 60B程度)
ダイソー	02-376-9011	サイアムスクエア(BTSサイアム駅南側)	百元ショップ系雑貨店(1個 60B程度)
ホームプロ		タイランドカルチャーセンター駅近く カルフルの同一店舗内	

9. 銀行

■The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ., Ltd.	54 harindhorn Bldg., North Sathorn Rd., Kwang silom Khet Bang Rak Bangkok 10500 TEL: 02-2663011-35, 02-2663054-5
■Krung Thai Bank	388 Exchange Tower, Sukhumvit Rd., Khet Klongtoey, Bangkok 10110 TEL: 02-2615274, 02-2612222#599
■Kasikorn Bank	388 Exchange Tower, G fl. Room G03-G04, Sukhumvit Rd., Kwang Klongtoey Khet Klongtoey Bangkok 10110 TEL: 02-2614054-8
■Bangkok Bank	388 Exchange Tower Bldg., G fl., Room G02 Kwang Klongtoey Khet Klongtoey Bangkok 10110 TEL: 02-2604471-4
■Siam Commercial Bank	388 Exchange Tower Bldg., G fl., Sukhumvit Rd., Kwang Klongtoey Khet Klongtoey Bangkok 10110 TEL: 02-6637671-2

10. レンタカー(運転手付き)

■新武報徳善堂観光開発株式会社	10 th fl., U.M.Tower, 9 Ramkhahaeng Rd., Suanluang, Bangkok 10250 TEL: 02-717-3941
-----------------	--

-
- JTB (Thailand) Limited

 54 North Sathorn Rd., Kwang Silom, Khet Bangrak, Bangkok 10500

 TEL: 02-632-2803

11. インターネット・プロバイダー

たいていのホテルやアパートでサービスがあるため、独自に加入する人は多くありません。

-
- True Internet Co., Ltd.

 02-900-9000

 - TOT Public Co., Ltd.

 Call Center 1100

12. 国際宅配会社

-
- O.C.S. Express Co., Ltd

 02-737-7107 (クーリエ)

 - DHL Express International (Thailand) Ltd

 02-345-5000(クーリエ)

 - UPS Parcel Delivery Service Ltd.

 02-762-3300(クーリエ)

 - Federal Express Corporation

 02-367-3232(クーリエ、貨物)

 - K Line Logistics (Thailand) Ltd

 02-238-0685 (貨物)

 - Nippon Express (Thailand) Co., Ltd

 02-643-8335 (貨物)

13. 教育機関

<日本人学校>

泰日協会学校(バンコク日本人学校)

258 Soi Rongrian Yeepun, Rama 9 Rd., Huaykwang, Bangkok

TEL: 02-314-7797

URL: <http://www.tjas.ac.th> E-mail: tjas@tjas.ac.th

入学手続きは日本国内の転入学手続きに準じる。詳細は海外子女教育振興財団に必ず確認すること。

小学部職員室 TEL:02-314-7334 FAX:02-319-5458

中学部職員室 TEL:02-314-7335 FAX:02-319-6620

事務室 TEL:02-314-7797 FAX:02-319-2251

<インターナショナルスクール>

-
- International School Bangkok (ISB)

 39/7 Soi Nichada Thani, Samakee Rd., Nonthaburi 11120

 TEL: 02-963-5800 FAX: 02-583-5432

 URL: <http://www.isb.ac.th/> E-mail: register@isb.ac.th

 - Ruamrudee International School (RIS)

 42, 4 Moo Ramkhamhaeng 184, Minburi, Bangkok 10510

 TEL: 02-518-0320~29 FAX: 02-518-0334

 URL: <http://www.rism.ac.th/> E-mail: info@rism.ac.th

 - New International School Thailand (NIST)

 36 Soi 15 Sukhumvit Rd., Bangkok 10110

 TEL: 02-651-2065 (内線 202) FAX: 02-253-3571

 URL: <http://www.nist.ac.th/> E-mail: admissions@nist.ac.th

 - The Bangkok Patana School

 2/38 Soi La Salle, Sukhumvit 105, Bangkok 10260

 TEL: 02-398-0200 FAX: 02-399-3179

 URL: <http://www.patana.ac.th/> E-mail: registar@patana.ac.th, patreq@patana.ac.th

<幼稚園・保育園>【バンコクの日本幼稚園】

-
- レインボー幼稚園

 36 Soi 23 Sukhumvit

 TEL: 02-258-4190 FAX: 02-664-1272

 - たけのこ幼稚園

 317/3 Ekamai 19 Sukhumvit 63 (*2006年1月に、ソイ39から移転)

 TEL: 02-381-6534 FAX: 02-392-6723

■ニューバンビーン幼稚園
14 Soi Klang 49/7 Sukhumvit
TEL: 02-381-1866 FAX: 02-712-6244
■The American School of Bangkok(日本人幼稚園)
59-59/1 Soi 49/3 Sukhumvit (サミティベ病院裏)
TEL&FAX: 02-662-5023
■バンコク幼稚園
117/4 Thonglor7 Soi 55 Sukhumvit
TEL&FAX: 02-390-0397
■SP インターナショナルキンダガーデン(日本人部門)
95 Soi 17 Soi 55 Sukhumvit
TEL:02-391-2648 FAX:02-391-3654
■ABC プレイグラウンドナーサリーアンドキンダガーデン
31 Soi 36 Sukhumvit
TEL: 02-258-5948 FAX: 02-661-3515-(0)
■こぼと幼稚園
25/1 Soi Saengchai Soi 38 Sukhumvit
TEL: 02-391-1720 FAX: 02-713-5099
■メロディー幼稚園(日本人部)
55 Soi 38 Sukhumvit
TEL: 02-712-1680~1 FAX: 02-712-1682
■バーンラック幼稚園 (保育はタイ語)
29 Soi Sangchan Soi 40 Sukhumvit
TEL: 02-392-8807 FAX: 02-381-4269
■キディー 幼稚園
45 Soi 51 Sukhumvit
TEL & FAX: 02-662-4878、02-662-4851

【バンコクのインターナショナル幼稚園】

■The IPC International Kindergarten
313 Sukhumvit Soi 31
TEL: 02-258-8105 FAX: 02-662-2721
E-mail: ipc@ipcthai.com Web: www.ipcthai.com
■The First Steps International Pre-School
8 Soi Sang Mukhda, Sukhumvit Soi 43
TEL: 02-258-7366 FAX: 02-258-7347
E-mail: firststep@access.inet.co.th Web: www.thefirststeps.ac.th
■Ever Clever International Kindergarten
22/1 Sukhumvit Soi 47
TEL: 02-204-1096 FAX: 02-662-6259
E-mail: everclever@wells-school.com Web: www.wells-school.com
■The American School of Bangkok(インター部・Sukhumvit Campus)
59-59/1 Sukhumvit Soi 49/3
TEL: 02-662-4900 FAX: 02-261-0330
E-mail: kindergarten@asb.th.edu Web: www.asb.th.edu
■The Early Learning Centre
18 Soi Arkaphat, Sukhumvit Soi 49/4
TEL: 02-381-2919 FAX: 02-391-1334
E-mail: cityschool@elc-bangkok.com Web: www.elc-bangkok.com
■The Purple Elephant & Chez Noodles (Purple)
44 Sukhumvit Soi 53/1
TEL: 02-662-7653 FAX: 02-260-5947
E-mail: purpleelephant@elc-bangkok.com
■ The Purple Elephant & Chez Noodles (Chez)
61 Soi 39 (Soi Prommitr)
TEL: 02-662-4570~1 FAX: 02-662-4572
E-mail: cheznoodles@elc-bangkok.com

■SP International Kindergarten (SP幼稚園インター部)
95 Soi 17 Sukhumvit Soi 55
TEL: 02-391-2648 FAX: 02-391-3654
E-mail: info@spn.ac.th Web: www.spn.ac.th
■Humpty Dumpty Nursery
10 Soi 25 Sukhumvit Soi 55
TEL: 02-391-6772 FAX: 02-745-5545
E-mail: humpty_jj@hotmail.com
■Ladybird International Kindergarten
21 Promsri 2 Sukhumvit Soi 39
TEL: 02-382-3338~9 FAX: 02-714-7504
E-mail: ladybird@teacher.com Web: www.ladybird.ac.th
■Twinkle Star Nursery School
81 Sukhumvit Soi 61
TEL: 02-381-3094 FAX: 02-391-6573
E-mail: contact@twinklestar.ac.th
Web: www.twinklestar.ac.th
■System's Little House International School
107 Subsoi 5 Sukhumvit Soi 55
TEL: 02-391-9157 FAX: 02-381-6507
E-mail: slhbkk@loxinfo.co.th Web: www.systemslittlehouse.com
■Early Years Nursery & Kindergarten
32 Sukhumvit Soi 14
TEL: 02-229-4292 FAX: 02-229-4465
■The British School of Bangkok
36 Sukhumvit Soi 4
02-656-9961 02-656-8224 FAX: 02-656-7736
E-mail: info@bsbangkok.ac Web: www.bsbangkok.ac
■The Australian International School Bangkok
164 Sukhumvit Soi 20
02-260-4575 02-663-5495~7 FAX: 02-258-1450
E-mail: aisb@loxinfo.co.th Web: www.australian-isb.com
■KiddyKare International Kindergarten
59/34 Sukhumvit Soi 26
TEL: 02-665-6777 FAX: 02-665-6774
E-mail: kkare@loxinfo.co.th Web: www.kiddykare.com
■Trinity International School
30 Sukhumvit 36
TEL: 02-661-3993 FAX: 02-661-3992
E-mail: admin@trinityeducation.co.th Web: www.Trinity.ac.th
■MELODIES INTERNATIONAL KINDERGARTEN (メロディー幼稚園インター部)
55 Sukhumvit Soi 38
TEL: 02-712-1680 FAX: 02-712-1682
E-mail: melodies@a-net.net.th Web: melodieskinder.com
■Bumblebee International Pre-school
4 Sukhumvit Soi 44
TEL: 02-712-2994~5 FAX: 02-713-5076
E-mail: bumblebeepreschool@fastmail.fn info@bumblebeeinter.com
Web: www.bumblebeeinter.com
■KIS International School
999/124 Kesinee Ville, Pracha-Utit Rd
TEL: 02-274-3444 FAX: 02-274-3452
E-mail: info@kis.ac.th Web: www.kis.ac.th

■Modern Montessori International Pre-School

14 Soi 34 Sukhumvit Road, Klongtoey

TEL:02-6656215-6 FAX:02-6656217

Email:mimi@mimi-thailand.com

Web:www.mimi-thailand.com

■KIDS ACADEMY International Pre-School

52/1-2 Sukhumvit 63, Soi 2

TEL:02-714-3636or3737

Email: info@kidsacademy.ac.th Web:www.kidsacademy.ac.th

14. 図書館

■日本人会図書館(本館)

1st Floor, Sathorn Thani Building II, 92/1 North Sathorn Rd., Bangkok 10500

TEL:02-233-7504、236-1128/1148 FAX:02-236-1131

URL:http://www.jat.or.th

■日本人会別館図書館(別館/バンコク子ども図書館)

7F, Citi Resort Sukhumvit 39 Annex, 181/9 Soi 39 Sukhumvit Rd., Bangkok 10110

TEL:02-662-4948~9 FAX:02-662-4948

■国際交流基金図書室

10th Fl. Serm-Mit Tower, 159 Sukhumvit 21

TEL:02-260-8560

15. 日本の新聞、出版物の購読

■読売新聞(バンコク)

TEL:02-317-1493~4、316-6852

■朝日新聞(シンガポール)

TEL:+65(シンガポール国番号)-6225-0667

■日本経済新聞(シンガポール)

TEL:+65(シンガポール国番号)-6336-4122

■海外新聞普及(株)(OCS)輸出購読サービス

〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13

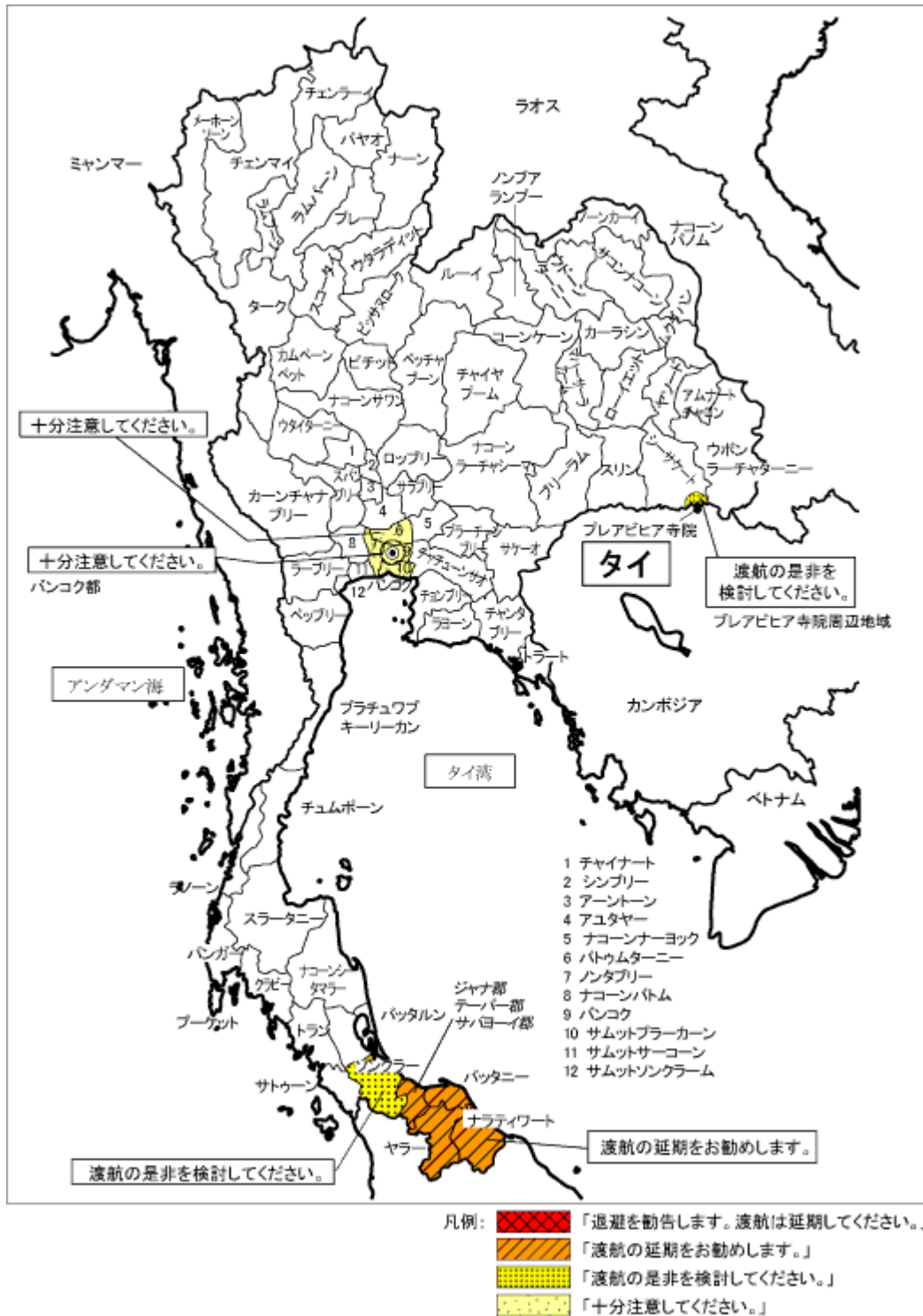
TEL:03-5476-8131 FAX:03-3453-8091

URL:http://www.ocs.co.jp/ E-mail:subs@ocs.co.jp

16. 日本の雑誌、書籍

商店名称	TEL	場所	備考
東京堂書店スクンビット店	02-260-3569	スクンビット・ソイ 33/1、フジスーパー向かい	
東京堂書店エンポリウム店	02-664-8540	エンポリウムデパート3階	
SUN BOOKS	08-9291-4112	スクンビット・ソイ 39	雑誌、コミック、古本
紀伊国屋書店バンコク店	02-255-9834	伊勢丹デパート6階	
紀伊国屋書店スクンビット店	02-664-8554	エンポリウムデパート3階	
ブック・オブ・ワールド	08-9202-0104	BTSプロンポン駅、ソイ 33 側通路脇	古本
泰文堂	02-255-9957	タニヤ、トンロー、スクンビット・ソイ 39 など	

タイに対する渡航情報(危険情報)の発出(外務省)



- ナラティワート県、ヤラー県、パッタニー県及びソングラー県の一部(ジャナ郡、テーパー郡及びサバヨイ郡):「渡航の延期をお勧めします。」(継続)
- ソングラー県(ジャナ郡、テーパー郡及びサバヨイ郡を除く):「渡航の是非を検討してください。」(継続)
- シーサケート県のカンボジアとの国境付近のプレアビヒア寺院周辺地域:「渡航の是非を検討してください。」(継続)
- 首都バンコク:「十分注意してください。」(継続)
- 非常事態宣言発令対象の 3 県(ノンタブリー県、サムットプラカーン県及びパトゥムターニー県):「十分注意してください。」(継続)
- 非常事態宣言発令対象から除かれた 3 県(コーンケン県、ウドンターニー県及びナコンラチャシーマー県):「十分注意してください。」の解除